

農001	項目名	農産物加工センター管理運営費	新規事業
予算書項目	農産物加工センター管理運営費	ページ	237
年度	R2	所 属 名	農林水産部 農政企画課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】農政係 0857-30-8302		
款 農林水産業費	【10次総の施策体系】2104		
項 農業費	【事業の経過及び背景】 農産物の加工技術の習得・向上により地域農業の振興を図ることを目的に、市内各地に農産物加工等施設を整備している。施設の効率的な運営管理と併せ、「鳥取市公共施設再配置基本計画」に基づき、施設の地元移管等も進めている。		
目 農業総務費	【事業の目的及び効果】 農産物加工等施設の維持管理を適切に行い、各施設の機能保全を図る。		
(単位：千円)	【事業の内容】 ①農産物加工技術及び特産加工品開発に関する研修 ②衛生的な農産物加工の指導 ③その他適正な運営と維持管理		
前年度当初予算額	22,758	【農産物加工施設等の管理運営】 主な施設名 (鳥取)鳥取市農産物加工センター (国府)大茅地区農産物加工施設、成器地区農産物加工施設 麻生地区農産物加工施設 (福部)福部アイデア館 (用瀬)社農産物加工施設、大村農産物加工施設 (気高)農産物加工施設 (鹿野)河内生活改善センター	
本年度要求額	28,865	※その他財源の使用料は、農産物加工センター使用料、電柱敷地使用料及び駐車場用地使用料。 ※その他財源の諸収入は、佐治地区保健センター光熱水費負担金。	
総務部長段階査定額	22,014	その他財源の内訳	
市長段階査定額	22,014	分担金	0
区分	本年度予算額	負担金	0
財源内訳		使用料	2,316
国・県支出金	0	手数料	0
地方債	0	財産収入	0
その他	2,457	寄付金	0
一般財源	19,557	繰入金	0
計	22,014	諸収入	141
		その他	0
行財政改革課処理欄			

農002	項目名	新規就農推進事業費	新規事業
予算書項目	次代の農業を担う若者育成対策事業費	ページ	237
年度	R2	所 属 名	農林水産部 農政企画課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】担い手支援係 0857-30-8305		
款 農林水産業費	【10次総の施策体系】2104		
項 農業費	【事業の経過及び背景】 農業者等の高齢化、農業就業人口の減少等により、中山間地域を中心とした耕作放棄地の増加が顕著になっており、県内外から就農意欲の高い若者を呼び込むなど、将来に向けた担い手の確保と持続的な生産体制の構築が課題となっている。		
目 農業総務費	【事業の目的及び効果】 新規就農者を確保するため、農業研修生の育成や円滑な就農定住を促進するために必要な経費について支援を行う。また、農業後継者が親の経営に参画する場合における収入増が見込めない初期段階の経済的支援を行う。		
(単位：千円)	【事業の内容・実績】 (内容) ①とっとり農業体験(研修)事業 ②新規就農推進事務費 ③親元就農促進支援交付金		
前年度当初予算額	11,246	(事業実績) 平成29年度：12,497千円 平成30年度：9,801千円 令和元年度：9,654千円(見込み)	
本年度要求額	13,486	その他財源の内訳	
総務部長段階査定額	11,797	分担金	0
市長段階査定額	11,797	負担金	0
区分	本年度予算額	使用料	0
財源内訳		手数料	0
国・県支出金	4,600	財産収入	0
地方債	0	寄付金	0
その他	0	繰入金	0
一般財源	7,197	諸収入	0
計	11,797	その他	0
行財政改革課処理欄			

農003	項目名	新規就農営農支援事業費	新規事業
予算書項目	次代の農業を担う若者育成対策事業費	ページ	237
年度	R2	所 属 名	農林水産部 農政企画課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】担い手支援係 0857-30-8305		
款 農林水産業費	【10次総の施策体系】2104		
項 農業費	【事業の経過及び背景】 農業者等の高齢化、農業就業人口の減少等により、中山間地域を中心とした耕作放棄地の増加が顕著になっており、県内外から就農意欲の高い若者を呼び込むなど、将来に向けた担い手の確保と持続的な生産体制の構築が課題となっている。		
目 農業総務費	【事業の目的及び効果】 新規就農を目指す青年等が、安定して就農初期の経営を行うことができるよう生活支援を行うとともに、農地賃借料助成、住居家賃助成を行うことで就農時の負担を軽減する。		
(単位：千円)	【事業の内容・実績】		
前年度当初予算額	35,459	①農業次世代人材投資資金 13人 推進事務費	
本年度要求額	29,993	②農地賃借料助成事業 11人	
総務部長段階査定額	29,993	③就農条件整備事業 6人(県1/3・市1/6)	
市長段階査定額	29,993	(事業実績)	
区分	本年度予算額	平成29年度：39,425千円	
財源内訳	国・県支出金 25,797	平成30年度：42,617千円	
地方債 0	地方債 0	令和元年度：32,769千円(見込み)	
その他 0	その他 0		
一般財源 4,196	一般財源 4,196		
計 29,993	計 29,993		
行財政改革課処理欄			

農004	項目名	農業公社運営事業補助金	新規事業
予算書項目	農業公社運営事業補助金	ページ	237
年度	R2	所 属 名	農林水産部 農政企画課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】担い手支援係 0857-30-8305		
款 農林水産業費	【10次総の施策体系】2104		
項 農業費	【事業の経過及び背景】 鳥取市農業公社は、平成20年の国府・鹿野・青谷の公社統合と平成25年の一般財団法人化を経て、高齢化や後継者不足に対応するため、農地保有合理化事業と農作業受託事業を行い地域農業の振興に寄与してきた。		
目 農業総務費	農地利用集積円滑化団体として、鳥取、福部、国府、鹿野、青谷地域のエリアで農地の流動化や荒廃農地の拡大防止に取り組んでいる。		
(単位：千円)	【事業の目的及び効果】 農地保全及び集積による地域農業の振興と、農村地域の維持発展に寄与することを目的とする農業公社の円滑な運営を図る。		
前年度当初予算額	10,476	【事業の内容・実績】	
本年度要求額	11,812	(内容)	
総務部長段階査定額	9,476	農業公社事業補助金	
市長段階査定額	9,476	実施事業：農地利用集積円滑化事業、農地保全等事業	
区分	本年度予算額	平成29年度 平成30年度 令和元年度	
財源内訳	国・県支出金 0	農地集積円滑化事業実施面積 205.7ha 196.3ha 200ha(見込み)	
地方債 0	地方債 0	延べ農作業受託面積 36.8ha 52.6ha 50ha(見込み)	
その他 0	その他 0		
一般財源 9,476	一般財源 9,476		
計 9,476	計 9,476		
行財政改革課処理欄			

農005	項目名	共同利用施設整備等事業費	新規事業
------	-----	--------------	------

予算書項目	共同利用施設整備等事業費	ページ	237
-------	--------------	-----	-----

所 属 名	農林水産部 農政企画課
-------	----------------

年度	R2
----	----

会計名	一般会計
款	農林水産業費
項	農業費
目	農業総務費

(単位：千円)

前年度当初予算額	7,475
----------	-------

本年度要求額	14,783
--------	--------

総務部長段階査定額	11,878	その他財源の内訳	
市長段階査定額	11,878	分担金	0
		負担金	0
		使用料	90
		手数料	0
		財産収入	182
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
区分	本年度予算額		
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	272		
一般財源	11,606		
計	11,878		

行財政改革課処理欄

事業の概要

【問合せ先】農政係 0857-30-8302

【10次総の施策体系】2104

【事業の経過及び背景】

地域農業の振興により雇用創出や所得向上を図ることを目的に、市内各地に農作業場や農機具保管庫等の共同利用施設を整備している。現在は、施設の効率的な運営管理と併せ、「鳥取市公共施設再配置基本計画」に基づき、施設の地元移管等を進めている。

【事業の目的及び効果】

経年劣化等による共同利用施設の修繕を行い、施設の機能保全を図るとともに、将来的に地元等への移管の円滑化につなげる。

【事業の内容・実績】

(内容)

地元へ施設の貸付・移管を行うため、施設の修繕、工事等を行う。

(事業実績)

過去3年の修繕及び工事の実績(延べ数)

平成29年度	修繕	16施設
平成30年度	修繕	18施設
令和元年度見込	修繕	5施設

貸付・譲渡済み施設

平成29年度	10施設
平成30年度	1施設
令和元年度見込	1施設

※その他財源の使用料は、電柱敷地使用料及び駐車場用地使用料。

※その他財源の諸収入は、土地建物貸付収入。

農006	項目名	わくわく鳥取農業体験促進事業費	新規事業
------	-----	-----------------	------

予算書項目	米消費拡大事業費	ページ	239
-------	----------	-----	-----

所 属 名	農林水産部 農政企画課
-------	----------------

年度	R2
----	----

会計名	一般会計
款	農林水産業費
項	農業費
目	農業振興費

(単位：千円)

前年度当初予算額	692
----------	-----

本年度要求額	954
--------	-----

総務部長段階査定額	720	その他財源の内訳	
市長段階査定額	720	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
区分	本年度予算額		
財源内訳			
国・県支出金	144		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	576		
計	720		

行財政改革課処理欄

事業の概要

【問合せ先】生産振興係 0857-30-8304

【10次総の施策体系】2104

【事業の経過及び背景】

従来から本市では、次世代を担う児童に、我が国の伝統的な主食である米の大切さを知る機会を提供する観点から米づくり体験学童農園を実施してきた。近年、我が国では米を含め、野菜、果樹の生産量・消費量が下がってきており、本市でも同様の傾向にある。そこで、米だけでなく地域で生産される農産物について学び、農業に関心を持ってもらうため、従来の米づくり体験学童農園事業の見直しを行った。

【事業の目的及び効果】

作物の生産などを通じ、地元農産物への理解を深め、地産地消の推進や次世代の農業の担い手育成につなげていく。

【事業の内容・実績】

(内容)

小学校で実施される「農作業体験」に対して、助成を行う。

わくわく鳥取農業体験促進事業

取組内容：米20校、野菜4校

委託先：各小学校PTA等

(事業実績)

(1) 米づくり体験学童農園実施校

平成29年度：1,317千円(25校)

平成30年度：1,259千円(23校)

令和元年度：556千円(20校)(見込み)

(2) 米料理教室実施回数

平成29年度：25回 平成30年度：22回 令和元年度：廃止

農007	項目名	果樹振興対策事業費	新規事業
予算書項目	園芸産地づくり事業費	ページ	239
年度	R2	所 属 名	農林水産部 農政企画課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】生産振興係 0857-30-8304		
款 農林水産業費	【10次総の施策体系】2104		
項 農業費	【事業の経過及び背景】 本市の果樹栽培は近年、生産者の高齢化・後継者不足、販売価格の低迷等により、生産者数、栽培面積、生産量ともに減少を続けている。		
目 農業振興費	【事業の目的及び効果】 果樹の生産から出荷、販売に際して支援していくことで、果樹生産の総合的な振興を図り、消費拡大、生産者の意欲向上を図る。		
(単位：千円)	【事業の内容・実績】		
前年度当初予算額	11,207	(1) 果樹振興対策事業《単市》【対象品種は新品種・振興品種以外】	
本年度要求額	30,287	① 5a以上の梨の新・改植に対し10,000円/aを上限に助成	
総務部長段階査定額	24,410	② 柿、桃、ぶどう、ピワ、栗の植栽に対し、苗木購入経費等を助成	
市長段階査定額	24,410	③ 品質生産性向上支援 品質・生産性向上を図る為の資材経費助成	
区分	本年度予算額	④ 鳥取梨生産振興事業 ・梨の新品種及び県振興品種の導入とそれに伴う基盤整備に係る経費の支援	
国・県支出金	22,812	⑤ 鳥取柿ぶどう等生産振興事業 ・「輝太郎」など新品種及び県振興品種の導入、導入に伴う基盤整備経費の支援	
地方債	0	⑥ 低コスト・体制強化事業 ・共同機械利用、オペレーター体制を整備し廃園化防止、低コスト化、産地維持に取り組む場合の機械購入費等に係る経費の支援	
その他	0	⑦ 育苗委託促進対策 ・ジョイント栽培用2年生大苗の育苗委託に係る経費の支援	
一般財源	1,598	平成29年度：6,262千円 平成30年度：8,267千円 令和元年度：11,027千円（見込み）	
計	24,410		
行財政改革課処理欄			

農008	項目名	みんなでやらいや農業支援事業費	新規事業
予算書項目	みんなでやらいや農業支援事業費	ページ	239
年度	R2	所 属 名	農林水産部 農政企画課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】生産振興係 0857-30-8304		
款 農林水産業費	【10次総の施策体系】2104		
項 農業費	【事業の経過及び背景】 農地の遊休化、農業者の高齢化が進行する中、本市では、生産規模拡大等を目指す意欲ある農業者が作成する計画（プラン）に対し支援を行うことで、地域農業の振興、活性化、農業者の所得向上を図ってきた。		
目 農業振興費	【事業の目的及び効果】 意欲ある農業者、農業団体等が目的達成のために作成したプランに位置づけた取り組みに対し支援を行い、地域農業の振興や活性化を図る。		
(単位：千円)	【事業の内容・実績】		
前年度当初予算額	33,869	(内容) 事業実施主体の作成したプランを実現するために必要な事業（ハード、ソフト事業）に対し助成する。（補助率：ハード 県1/3、市1/6 ソフト 県1/2、市1/6）	
本年度要求額	23,430	令和2年度実施予定 農家プラン 鳥取（継続2件）色彩選別機、コンバインほか 国府（継続1件）乾燥施設 河原（新規1件）コンバイン	
総務部長段階査定額	16,430	（事業実績） 平成29年度：53,323千円 平成30年度：48,191千円 令和元年度：29,969千円（見込み）	
市長段階査定額	16,430		
区分	本年度予算額		
国・県支出金	10,953		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	5,477		
計	16,430		
行財政改革課処理欄			

農009	項目名	農産物販路拡大支援事業費	新規事業
------	-----	--------------	------

予算書項目	鳥取地域ブランド農産物育成支援事業費	ページ	239
-------	--------------------	-----	-----

所 属 名	農林水産部 農政企画課
-------	----------------

年度	R2
----	----

会計名	一般会計
款	農林水産業費
項	農業費
目	農業振興費

(単位：千円)

前年度当初予算額	14,939
----------	--------

本年度要求額	23,460
--------	--------

総務部長段階査定額	12,956
-----------	--------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
贈収入	0
その他	0

市長段階査定額	12,956
---------	--------

区 分	本年度予算額
財源内訳	
国・県支出金	5,872
地方債	0
その他	0
一般財源	7,084
計	12,956

行財政改革課処理欄

事業の概要

【問合せ先】生産振興係 0857-30-8304

【10次総の施策体系】2104

【事業の経過及び背景】

食の「安全・安心」が求められている中、本市では、魅力ある農林水産物等をマルシェや試食宣伝・商談会などを通して関西圏を中心にPRしてきた。しかし、潜在的な需要はあるものの、安定的な供給量の確保が困難な事や、流通コスト高などの理由により、直接取引に繋がらないケースが多い。そのため、産地化によるロットの確保や地域商社機能を活用した物流・商流の一本化などの取り組みが求められている。

【事業の目的及び効果】

県内外のバイヤーの実需を把握し、集荷から販売までのトータルでの販路開拓を行うとともに、「麒麟のまち関西情報発信拠点」との連携によるマルシェの開催や商談会の開催を通して広域的なPR活動を行い、因幡圏域の農林水産物の知名度アップを図る。

【事業の内容・実績】

(内容)

- ①とっとり旬菜マルシェ等販路開拓事業
- ②麒麟のまち特産品商談会開催事業
- ③首都圏向け新商品開発事業
- ④海外販路開拓事業【新規】

(事業実績)

平成29年度：15,532千円
平成30年度：9,560千円
令和元年度：13,650千円（見込み）

農010	項目名	次世代農業推進事業費	新規事業
------	-----	------------	------

予算書項目	次世代農業推進事業費	ページ	239
-------	------------	-----	-----

所 属 名	農林水産部 農政企画課
-------	----------------

年度	R2
----	----

会計名	一般会計
款	農林水産業費
項	農業費
目	農業振興費

(単位：千円)

前年度当初予算額	13,051
----------	--------

本年度要求額	105,326
--------	---------

総務部長段階査定額	52,639
-----------	--------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	4,941
贈収入	0
その他	0

区 分	本年度予算額
財源内訳	
国・県支出金	26,114
地方債	0
その他	4,941
一般財源	21,584
計	52,639

行財政改革課処理欄

事業の概要

【問合せ先】生産振興係 0857-30-8304

【10次総の施策体系】2104

【事業の経過及び背景】

農家の高齢化、担い手不足や耕作放棄地の増加等、一次産業の衰退が懸念される中、スマート農業の導入による省力化・効率化による高収益な農業経営が求められている。

【事業の目的及び効果】

先進的な農業生産技術やICTを活用した新技術の導入による農作業の効率化・軽減化や、担い手不足解消に向けた研究開発に取り組み、併せて鳥取市が持つ自然エネルギーの農業への活用研究などに取り組むことで、新しい農業担い手の確保を行っていく。

【事業の内容・実績】

(内容)

- ①先進的農業技術普及事業
スマート農業デバイス等実地検証、先進農機（ドローン等）実践研修等
- ②JGAP普及業務
JGAP取得支援（個人・法人）コンサル事業
- ③洗いらっきょう切り機研究開発委託
切り子不足の課題解決に向けた根葉切り機の共同開発
- ④とっとり梨園スマート農業実証事業
梨栽培におけるスマート農業技術の確立に向けた実証
- ⑤温泉活用スマート農業実証事業
鹿野温泉を活用した園芸栽培におけるスマート農業技術の確立に向けた実証
- ⑥温泉活用スマート農業団地整備事業【新規】
鹿野温泉を活用した農業団地を形成するための温泉配湯管の延長工事（L=290m）

(事業実績)

平成29年度：実績なし
平成30年度：12,842千円
令和元年度：41,615千円（見込み）

※その他財源の繰入金は、農業振興基金繰入金。

農011	項目名	もうかる6次化・農商工連携支援事業費	新規事業
------	-----	--------------------	------

予算書項目	もうかる6次化・農商工連携支援事業費	ページ	239
-------	--------------------	-----	-----

所 属 名	農林水産部 農政企画課
-------	----------------

年度	R2
----	----

会計名	一般会計
款	農林水産業費
項	農業費
目	農業振興費

(単位：千円)

前年度当初予算額	6,667
----------	-------

本年度要求額	34,268
--------	--------

総務部長段階査定額	10,500	その他財源の内訳	
市長段階査定額	10,500	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0

行財政改革課処理欄

事業の概要

【問合せ先】生産振興係 0857-30-8304

【10次総の施策体系】2104

【事業の経過及び背景】
農林水産物の価格が低迷傾向にある中、農林漁業者の所得確保のひとつとして6次産業化（農商工連携）の取組みが注目されている。
しかし、農林漁業者の主体的な6次産業化への取組には、新たな加工機械導入等の大きな投資が必要であり、このため、こうした取組みに対する支援が求められている。

【事業の目的及び効果】
農林漁業者自らが加工・製造、流通・販売までを主体的に取り組み6次産業化や、農林水産業と商業・工業などが連携して商品製造等に取り組み農商工連携を推進することにより、農林漁業者の所得向上と地域経済の活性化を図る。

【事業の内容・実績】
(内容)
事業実施主体の作成したプランを実現するために必要な事業（ハード、ソフト事業）に対し助成する。補助率1/2（内訳：県1/3 市1/6）
令和2年度：桑葉加工機械、販売施設整備

(事業実績)
平成29年度：13,078千円
平成30年度：実績なし
令和元年度：実績なし（見込み）

農012	項目名	園芸産地活力増進事業費	新規事業
------	-----	-------------	------

予算書項目	園芸産地活力増進事業費	ページ	239
-------	-------------	-----	-----

所 属 名	農林水産部 農政企画課
-------	----------------

年度	R2
----	----

会計名	一般会計
款	農林水産業費
項	農業費
目	農業振興費

(単位：千円)

前年度当初予算額	32,333
----------	--------

本年度要求額	15,386
--------	--------

総務部長段階査定額	15,386	その他財源の内訳	
市長段階査定額	15,386	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	4,000
		贈収入	0
		その他	0

行財政改革課処理欄

事業の概要

【問合せ先】生産振興係 0857-30-8304

【10次総の施策体制】2104

【事業の経過及び背景】
高齢化、担い手不足、耕作放棄地の増加などの問題に直面している中、白ネギやブロッコリーなど圏域での集出荷体制や生産振興を図る動きが全農やJAを中心に加速している。また、作業の機械化、省力化、労働力軽減を望む声が上がっており、TPP等の影響に負けない強い園芸産地形成が求められている。

【事業の目的及び効果】
産地づくり強化や特産物の育成、新技術のモデル的取り組みを支援し産拡大の加速化を目指す。

【事業の内容・実績】
(内容)
●発展・成長タイプ
(内容)JAが白ネギ、アスパラガス、らっきょう等の主力産地を維持、発展させるために緊急的に導入、普及する機械や簡易な施設の整備等に要する経費の一部を補助。
(対象者)JA（対象経費）機械整備、施設改良、パイプハウス整備等
(補助率)1/2(県1/3・市1/6)

●中山間地域等特産物育成タイプ(一般)
(内容)地域活性化を目指した取り組みを支援。
(対象者)生産組織(2戸以上)、農業法人、市町村公社等
(対象経費)地域の特色を生かした園芸作物の試行的な取組、気象変化に対応した強い産地作りに係る取組、薬用作物の栽培に係る取組、稲作農家の園芸品目の導入経費、担い手農家の育成経費。(補助率)1/2(県1/3・市1/6)

(事業実績)
平成29年度：2,028千円
平成30年度：2,498千円
令和元年度：13,806千円（見込み）

※その他財源の繰入金は、農業振興基金繰入金。

農013	項目名	鳥取型低コストハウスによる施設園芸等推進事業費	新規事業
予算書項目	鳥取型低コストハウスによる施設園芸等推進事業費	ページ	239
年度	R2	所 属 名	農林水産部 農政企画課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】生産振興係 0857-30-8304		
款 農林水産業費	【10次総の施策体系】2104		
項 農業費	【事業の経過及び背景】 近年、農業の生産現場では、産地競争力の強化につながる高収益な施設園芸品目等への転換や、規模拡大の取り組みが拡大している。		
目 農業振興費	園芸品目の施設化は、気象災害の回避や病害虫対策、作型の変化に伴う労力分散など、収量・品質の安定による収益性の向上が期待されることから、通常のハウスと比べ費用が圧縮できる鳥取型低コストハウスの普及が県下で促進されている。		
(単位：千円)	【事業の目的及び効果】 国の産地パワーアップ事業を活用しながら鳥取型低コストハウスの導入を推進し、施設園芸品目の生産拡大を図る。		
前年度当初予算額	1,736	【事業の内容・実績】 (内容) 低コストハウス導入に伴う支援 ○アスパラ 令和元年・令和2年度の2か年事業 ○ぶどう 令和2年度事業 (事業実績) 平成29年度：実施なし 平成30年度：実施なし 令和元年度：3,767千円（見込み）	
本年度要求額	32,417		
総務部長段階査定額	32,417	【事業の内容・実績】 (内容) 低コストハウス導入に伴う支援 ○アスパラ 令和元年・令和2年度の2か年事業 ○ぶどう 令和2年度事業 (事業実績) 平成29年度：実施なし 平成30年度：実施なし 令和元年度：3,767千円（見込み）	
市長段階査定額	32,417	【事業の内容・実績】 (内容) 低コストハウス導入に伴う支援 ○アスパラ 令和元年・令和2年度の2か年事業 ○ぶどう 令和2年度事業 (事業実績) 平成29年度：実施なし 平成30年度：実施なし 令和元年度：3,767千円（見込み）	
区分	本年度予算額	【事業の内容・実績】 (内容) 低コストハウス導入に伴う支援 ○アスパラ 令和元年・令和2年度の2か年事業 ○ぶどう 令和2年度事業 (事業実績) 平成29年度：実施なし 平成30年度：実施なし 令和元年度：3,767千円（見込み）	
財源内訳		【事業の内容・実績】 (内容) 低コストハウス導入に伴う支援 ○アスパラ 令和元年・令和2年度の2か年事業 ○ぶどう 令和2年度事業 (事業実績) 平成29年度：実施なし 平成30年度：実施なし 令和元年度：3,767千円（見込み）	
国・県支出金	27,610	【事業の内容・実績】 (内容) 低コストハウス導入に伴う支援 ○アスパラ 令和元年・令和2年度の2か年事業 ○ぶどう 令和2年度事業 (事業実績) 平成29年度：実施なし 平成30年度：実施なし 令和元年度：3,767千円（見込み）	
地方債	0	【事業の内容・実績】 (内容) 低コストハウス導入に伴う支援 ○アスパラ 令和元年・令和2年度の2か年事業 ○ぶどう 令和2年度事業 (事業実績) 平成29年度：実施なし 平成30年度：実施なし 令和元年度：3,767千円（見込み）	
その他	0	【事業の内容・実績】 (内容) 低コストハウス導入に伴う支援 ○アスパラ 令和元年・令和2年度の2か年事業 ○ぶどう 令和2年度事業 (事業実績) 平成29年度：実施なし 平成30年度：実施なし 令和元年度：3,767千円（見込み）	
一般財源	4,807	【事業の内容・実績】 (内容) 低コストハウス導入に伴う支援 ○アスパラ 令和元年・令和2年度の2か年事業 ○ぶどう 令和2年度事業 (事業実績) 平成29年度：実施なし 平成30年度：実施なし 令和元年度：3,767千円（見込み）	
計	32,417	【事業の内容・実績】 (内容) 低コストハウス導入に伴う支援 ○アスパラ 令和元年・令和2年度の2か年事業 ○ぶどう 令和2年度事業 (事業実績) 平成29年度：実施なし 平成30年度：実施なし 令和元年度：3,767千円（見込み）	
行財政改革課処理欄			

農014	項目名	畜産振興対策事業費	新規事業
予算書項目	畜産振興対策事業費	ページ	239
年度	R2	所 属 名	農林水産部 農政企画課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】生産振興係 0857-30-8304		
款 農林水産業費	【10次総の施策体系】2104		
項 農業費	【事業の経過及び背景】 TPPや日EU・EPA（日EU経済連携協定）の影響が懸念される畜産業において、畜産農家が持続的に安定生産が行えるよう、経営力強化につながる支援の充実が求められている。		
目 畜産業費	【事業の目的及び効果】 放牧料の一部を助成することにより増頭とコスト削減を図る。 地域ブランド鳥取和牛の生産拡大を図る。		
(単位：千円)	【事業の内容・実績】 (内容) ①肉用牛放牧奨励事業（放牧料支援 補助率：市1/10） 公共放牧場に放牧する繁殖牛の放牧料の一部を助成する。 ②肥育素牛安定導入対策事業（補助率：市1/6） 農協から肥育素牛を借りた農家の出荷までの預託利息の一部を助成する。 (事業実績) 平成29年度：17,311千円 平成30年度：11,459千円 令和元年度：3,272千円（見込み）		
前年度当初予算額	3,273	【事業の内容・実績】 (内容) ①肉用牛放牧奨励事業（放牧料支援 補助率：市1/10） 公共放牧場に放牧する繁殖牛の放牧料の一部を助成する。 ②肥育素牛安定導入対策事業（補助率：市1/6） 農協から肥育素牛を借りた農家の出荷までの預託利息の一部を助成する。 (事業実績) 平成29年度：17,311千円 平成30年度：11,459千円 令和元年度：3,272千円（見込み）	
本年度要求額	3,206	【事業の内容・実績】 (内容) ①肉用牛放牧奨励事業（放牧料支援 補助率：市1/10） 公共放牧場に放牧する繁殖牛の放牧料の一部を助成する。 ②肥育素牛安定導入対策事業（補助率：市1/6） 農協から肥育素牛を借りた農家の出荷までの預託利息の一部を助成する。 (事業実績) 平成29年度：17,311千円 平成30年度：11,459千円 令和元年度：3,272千円（見込み）	
総務部長段階査定額	3,206	【事業の内容・実績】 (内容) ①肉用牛放牧奨励事業（放牧料支援 補助率：市1/10） 公共放牧場に放牧する繁殖牛の放牧料の一部を助成する。 ②肥育素牛安定導入対策事業（補助率：市1/6） 農協から肥育素牛を借りた農家の出荷までの預託利息の一部を助成する。 (事業実績) 平成29年度：17,311千円 平成30年度：11,459千円 令和元年度：3,272千円（見込み）	
市長段階査定額	3,206	【事業の内容・実績】 (内容) ①肉用牛放牧奨励事業（放牧料支援 補助率：市1/10） 公共放牧場に放牧する繁殖牛の放牧料の一部を助成する。 ②肥育素牛安定導入対策事業（補助率：市1/6） 農協から肥育素牛を借りた農家の出荷までの預託利息の一部を助成する。 (事業実績) 平成29年度：17,311千円 平成30年度：11,459千円 令和元年度：3,272千円（見込み）	
区分	本年度予算額	【事業の内容・実績】 (内容) ①肉用牛放牧奨励事業（放牧料支援 補助率：市1/10） 公共放牧場に放牧する繁殖牛の放牧料の一部を助成する。 ②肥育素牛安定導入対策事業（補助率：市1/6） 農協から肥育素牛を借りた農家の出荷までの預託利息の一部を助成する。 (事業実績) 平成29年度：17,311千円 平成30年度：11,459千円 令和元年度：3,272千円（見込み）	
財源内訳		【事業の内容・実績】 (内容) ①肉用牛放牧奨励事業（放牧料支援 補助率：市1/10） 公共放牧場に放牧する繁殖牛の放牧料の一部を助成する。 ②肥育素牛安定導入対策事業（補助率：市1/6） 農協から肥育素牛を借りた農家の出荷までの預託利息の一部を助成する。 (事業実績) 平成29年度：17,311千円 平成30年度：11,459千円 令和元年度：3,272千円（見込み）	
国・県支出金	0	【事業の内容・実績】 (内容) ①肉用牛放牧奨励事業（放牧料支援 補助率：市1/10） 公共放牧場に放牧する繁殖牛の放牧料の一部を助成する。 ②肥育素牛安定導入対策事業（補助率：市1/6） 農協から肥育素牛を借りた農家の出荷までの預託利息の一部を助成する。 (事業実績) 平成29年度：17,311千円 平成30年度：11,459千円 令和元年度：3,272千円（見込み）	
地方債	0	【事業の内容・実績】 (内容) ①肉用牛放牧奨励事業（放牧料支援 補助率：市1/10） 公共放牧場に放牧する繁殖牛の放牧料の一部を助成する。 ②肥育素牛安定導入対策事業（補助率：市1/6） 農協から肥育素牛を借りた農家の出荷までの預託利息の一部を助成する。 (事業実績) 平成29年度：17,311千円 平成30年度：11,459千円 令和元年度：3,272千円（見込み）	
その他	0	【事業の内容・実績】 (内容) ①肉用牛放牧奨励事業（放牧料支援 補助率：市1/10） 公共放牧場に放牧する繁殖牛の放牧料の一部を助成する。 ②肥育素牛安定導入対策事業（補助率：市1/6） 農協から肥育素牛を借りた農家の出荷までの預託利息の一部を助成する。 (事業実績) 平成29年度：17,311千円 平成30年度：11,459千円 令和元年度：3,272千円（見込み）	
一般財源	3,206	【事業の内容・実績】 (内容) ①肉用牛放牧奨励事業（放牧料支援 補助率：市1/10） 公共放牧場に放牧する繁殖牛の放牧料の一部を助成する。 ②肥育素牛安定導入対策事業（補助率：市1/6） 農協から肥育素牛を借りた農家の出荷までの預託利息の一部を助成する。 (事業実績) 平成29年度：17,311千円 平成30年度：11,459千円 令和元年度：3,272千円（見込み）	
計	3,206	【事業の内容・実績】 (内容) ①肉用牛放牧奨励事業（放牧料支援 補助率：市1/10） 公共放牧場に放牧する繁殖牛の放牧料の一部を助成する。 ②肥育素牛安定導入対策事業（補助率：市1/6） 農協から肥育素牛を借りた農家の出荷までの預託利息の一部を助成する。 (事業実績) 平成29年度：17,311千円 平成30年度：11,459千円 令和元年度：3,272千円（見込み）	
行財政改革課処理欄			

農015	項目名	畜産環境等整備事業費	新規事業
予算書項目	畜産振興対策事業費	ページ	239
年度	R2	所 属 名	農林水産部 農政企画課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】生産振興係 0857-30-8304		
款 農林水産業費	【10次総の施策体系】2104		
項 農業費	【事業の経過及び背景】 本市内にある養鶏場では、過去様々な臭気対策を実施してきた。現在、外部への臭気漏洩や臭気自体の発生は大幅に低減され、地域においてもその取り組み自体は評価されている。しかし、気象条件や作業内容等により、住民からの苦情や臭気指数等が基準値を上回るケースがあり、継続的な臭気対策の実施と効果的な臭気低減策が求められている。		
目 畜産業費	【事業の目的及び効果】 鶏糞やその処理過程で発生する臭気を軽減する取り組みへ支援を行い、臭気軽減を図り、周辺地域の臭気問題解決につなげていく。		
(単位：千円)	【事業の内容・実績】 (内容) 防臭ファンおよび移動式簡易堆肥器の設置経費に対する支援(市1/2) (事業実績) 平成29年度：1,000千円 平成30年度：1,820千円 令和元年度：1,676千円(見込み)		
前年度当初予算額	1,676	総務部長段階査定額	1,667
本年度要求額	1,667	市長段階査定額	1,667
区分	本年度予算額	分担金	0
財源内訳		負担金	0
国・県支出金	0	使用料	0
地方債	0	手数料	0
その他	0	財産収入	0
一般財源	1,667	寄付金	0
計	1,667	繰入金	0
		贈収金	0
		その他	0
行財政改革課処理欄			

農016	項目名	和牛再生促進事業費	新規事業
予算書項目	畜産振興対策事業費	ページ	239
年度	R2	所 属 名	農林水産部 農政企画課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】生産振興係 0857-30-8304		
款 農林水産業費	【10次総の施策体系】2104		
項 農業費	【事業の経過及び背景】 現在、鳥取和牛のブランド化・生産拡大を図ろうと農家の繁殖雌牛の増頭を進め、和子牛の生産及び肉牛の出荷頭数の増加に取り組んでいる。		
目 畜産業費	【事業の目的及び効果】 畜産を取り巻く経営環境が依然として厳しい今、優良繁殖雌牛導入支援を行うことで、将来的に生産者の畜産経営体質を強化するとともに、本市における和牛ブランド力のアップを図る。		
(単位：千円)	【事業の内容・実績】 (内容) 担い手の増頭に対する支援(県・市) ・外部導入42頭×@1,000千円×1/2補助=21,000千円 (補助率：県1/3・市1/6) ・自家保留27頭×273千円/頭・補助=7,371千円 (定額補助(1頭あたり)：県182千円・市91千円) (事業実績) 平成29年度：23,952千円 平成30年度：19,588千円 令和元年度：26,555千円(見込み)		
前年度当初予算額	26,555	総務部長段階査定額	28,371
本年度要求額	28,371	市長段階査定額	28,371
区分	本年度予算額	分担金	0
財源内訳		負担金	0
国・県支出金	18,914	使用料	0
地方債	0	手数料	0
その他	0	財産収入	0
一般財源	9,457	寄付金	0
計	28,371	繰入金	0
		贈収金	0
		その他	0
行財政改革課処理欄			

農017	項目名	鳥取地どりブランド生産拡大支援事業費補助金	新規事業
予算書項目	畜産振興対策事業費	ページ	239
年度	R2	所 属 名	農林水産部 農政企画課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】生産振興係 0857-30-8304		
款 農林水産業費	【10次総の施策体系】2104		
項 農業費	【事業の経過及び背景】 「鳥取地どりピヨ」は、市場関係者から好評価を得ていたものの、生産・食鳥処理・販売を行ってきた(株)ふるさと鹿野での事業継続が困難となった。しかし、地どりの生産継続を望む声もあり、平成30年12月に(株)鹿野地鶏が事業を引き継ぎ、現在、順調に生産・販売に取り組んでいる。		
目 畜産業費	【事業の目的及び効果】 新たな体制で地どり事業を再開するにあたって必要となる食鳥処理に係る人材育成などを支援し、鳥取地どりブランドの更なる向上を図る。		
(単位：千円)	【事業の内容・実績】 (内容) 食鳥処理に係る研修、講習会の受講、外部講師の招聘経費の一部を支援。 販売促進に対する支援 補助率：1/3(単市) (事業実績) 平成29年度：実績なし 平成30年度：1,746千円 令和元年度：2,949千円(見込み)		
前年度当初予算額	2,949	分担金	0
本年度要求額	2,872	負担金	0
総務部長段階査定額	2,872	使用料	0
市長段階査定額	2,872	手数料	0
区分	本年度予算額	財産収入	0
財源内訳		寄付金	0
国・県支出金	1,436	繰入金	0
地方債	0	贈収金	0
その他	0	その他	0
一般財源	1,436		
計	2,872		
行財政改革課処理欄			

農018	項目名	農地集積等対策事業費	新規事業
予算書項目	地域農政推進対策事業費	ページ	241
年度	R2	所 属 名	農林水産部 農政企画課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】担い手支援係 0857-30-8305		
款 農林水産業費	【10次総の施策体系】2104		
項 農業費	【事業の経過及び背景】 担い手への農地集積を円滑に進めるため、平成24年度より国の戸別所得補償経営安定推進事業を活用し、全市域の各集落を対象として人・農地プランを作成することとなった。		
目 農業構造改善事業費	【事業の目的及び効果】 人・農地プランを活用し合意形成を図りながら農地中間管理機構への農地の貸付、担い手への転貸を行うことで、地域の担い手への農地の利用調整を推進する。		
(単位：千円)	【事業の内容・実績】 (内容) ①人・農地問題解決加速化支援事業(国費、市費) 地域連携推進員活動費(会計年度任用職員1名分賃金)(市費) 市町村活動費(事務費)(国費10/10) ②農地集積・集約化対策事業費(国費) 機構集積協力金(集積に協力する面積129ha) ③中間管理事業推進費 推進員活動費、消耗品費、役員費(会計年度任用職員1名分賃金、事務費) ④農地流動化推進事業費補助金 補助金(一定期間の利用権設定を行った認定農業者へ補助) (事業実績) 平成29年度：35,542千円 平成30年度：36,460千円 令和元年度：28,909千円(見込み)		
前年度当初予算額	28,909	分担金	0
本年度要求額	36,165	負担金	0
総務部長段階査定額	36,165	使用料	0
市長段階査定額	36,165	手数料	0
区分	本年度予算額	財産収入	0
財源内訳		寄付金	0
国・県支出金	26,659	繰入金	0
地方債	0	贈収金	2,835
その他	2,835	その他	0
一般財源	6,671		
計	36,165		
行財政改革課処理欄	※その他財源の諸収入は、中間管理事業事務受託収入。		

農019	項目名	湖山池周辺農地営農支援対策事業費	新規事業
予算書項目	湖山池汽水湖化に対応した大規模飼料作経営安定化推進事業費	ページ	241
年度	R2	所 属 名	農林水産部 農政企画課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】農政係 0857-30-8302		
款 農林水産業費	【10次総の施策体系】2104		
項 農業費	【事業の経過及び背景】 湖山池の水質浄化のための塩分導入開始に伴い、将来的に湖山池周辺での農業・農地を維持していくための取り組みとして、湖山池の水を利用しない飼料作物（牧草）の導入が行われている。しかし、平成29年度に国の交付金（産地交付金等）の減少、アワヨトウを始めとする病害虫等による被害が発生したことにより今後の営農に支障をきたしている。		
目 農業構造改善事業費	【事業の目的及び効果】 飼料作に要する経費のうち、営農経費の一部及びアワヨトウを始めとする病害虫等による突発的緊急事態に対応するため防除費用と農地の排水不良改良対策費用を助成し牧草経営の安定に繋げる。		
(単位：千円)	【事業の内容・実績】 (内容) ・アワヨトウ防除費用 病害虫防除等、突発的緊急事態に対応するための費用を助成。 実施内容 防除想定面積 13ha（瀬 11ha、西桂見 1ha、三津 1ha） 事業主体 各地区営農組合（湖山町瀬地区・西桂見地区・三津地区） ・農地排水不良対策費 排水不良により、収量が低下しているほ場の対策費用を助成。 実施内容 サブソイラーによる補助暗渠、額縁明渠 事業主体 湖山町瀬地区営農組合		
前年度当初予算額	2,470	（事業実績） 平成29年度： - 千円（平成30年度より開始） 平成30年度： 310千円（県 1/2、市 1/2） 令和元年度： 1,130千円（見込み）（県 1/2、市 1/2）	
本年度要求額	2,060		
総務部長段階査定額	2,060	（事業実績） 平成29年度： - 千円（平成30年度より開始） 平成30年度： 310千円（県 1/2、市 1/2） 令和元年度： 1,130千円（見込み）（県 1/2、市 1/2）	
市長段階査定額	2,060		
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金	1,030	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	1,030	
	計	2,060	
行財政改革課処理欄			

農020	項目名	野生鳥獣被害防止事業費	新規事業
予算書項目	野生鳥獣被害防止事業費	ページ	243
年度	R2	所 属 名	農林水産部 農政企画課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】鳥獣対策係 0857-30-8303		
款 農林水産業費	【10次総の施策体系】2104		
項 林産業費	【事業の経過及び背景】 野生鳥獣による農作物被害は、年々増加傾向にあり、また、狩猟免許所持者も高齢化により減少している。		
目 林業総務費	【事業の目的及び効果】 野生鳥獣による農作物被害防止に必要な支援を行うことで、本市農林業の持続的な振興を図る。		
(単位：千円)	【事業の内容・実績】 (内容) ①有害鳥獣駆除実施事業費（県1/3 市2/3） 銃器、わな等による有害鳥獣（イノシシ、カラス等）駆除 ②侵入防止施設（ワイヤーメッシュ・電気柵）整備事業費 （県1/3 市1/3 地元1/3）（※非農家 市・地元1/2） ③捕獲奨励金 （イノシシ、シカ、アライグマ、ヌートリア：県1/2 市1/2、カラス：市10/10） ④免許取得促進事業（県1/3 市2/3） ⑤鳥取市鳥獣対策協議会支援事業 侵入防止柵整備（国5/6、地元1/6）、捕獲器導入（国定額又は1/2） ⑥イノシシ解体処理施設維持管理費 ⑦新規銃砲取得者の育成（市10/10）、捕獲技術の向上対策事業（県・市定額） （事業実績） 平成29年度：47,815千円 平成30年度：61,075千円 令和元年度：70,631千円（見込み）		
前年度当初予算額	56,741		
本年度要求額	81,998		
総務部長段階査定額	62,201		
市長段階査定額	62,201		
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金	24,906	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	37,295	
	計	62,201	
行財政改革課処理欄			

農021	項目名	射撃場管理運営費	新規事業
予算書項目	射撃場管理運営費	ページ	243
年度	R2	所 属 名	農林水産部 農政企画課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】鳥獣対策係 0857-30-8303		
款 農林水産業費	【10次総の施策体系】2104		
項 林産業費	【事業の経過及び背景】 狩猟者養成を行う射撃場は、平成20年4月から休場していたが、平成28年9月から再開し、市内外の狩猟者に利用されている。		
目 林業総務費	【事業の目的及び効果】 野生鳥獣の捕獲には散弾銃等を使用できる銃猟者の協力が不可欠であり、適正な射撃場の運営による、銃猟者の育成・確保を強化する。また、周辺エリアに存在する鉛弾及び汚泥除去を行い、環境改善を図る。		
(単位：千円)	【事業の内容・実績】 (内容) 鳥取クレー射撃場の運営管理。鉛弾及び汚泥除去。 (事業実績) 平成27年度～28年度：射撃場再整備 (整備面積11,240㎡、トラップ射場1面、スキート射場1面、鉛弾飛散防止ネット、管理棟1棟)		
前年度当初予算額	15,059	総務部長段階査定額	116,503
本年度要求額	169,367	市長段階査定額	116,503
		その他財源の内訳	
		分担金	0
		負担金	2,701
		使用料	2,331
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	22
		その他	0
区分	本年度予算額		
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	5,054		
一般財源	111,449		
計	116,503		
行財政改革課処理欄			

農022	項目名	市行造林維持管理費	新規事業
予算書項目	市行造林維持管理費	ページ	243
年度	R2	所 属 名	農林水産部 林務水産課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】林務係 0857-30-8311		
款 農林水産業費	【10次総の施策体系】2104		
項 林産業費	【事業の経過及び背景】 市行造林、市有林の適正な森林管理が必要なため。		
目 林業総務費	【事業の目的及び効果】 森林経営計画（平成30年度～令和4年度）に基づき、市行造林、市有林の保育、間伐材生産等の適正な森林整備を行う。		
(単位：千円)	【事業の内容・実績（過去3年）】 (事業の内容) ①森林国営保険料 194.12ha 953,977円 ②委託料 青谷（間伐（搬出） 8.0ha）16,189,800円 (事業の実績) 平成29年度 23,143千円 平成30年度 17,991千円 令和元年度 19,726千円（見込み）		
前年度当初予算額	20,504	総務部長段階査定額	17,171
本年度要求額	17,171	市長段階査定額	17,171
		その他財源の内訳	
		分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	3,954
		寄付金	0
		繰入金	2,400
		贈収入	0
		その他	0
区分	本年度予算額		
財源内訳			
国・県支出金	8,417		
地方債	0		
その他	6,354		
一般財源	2,400		
計	17,171		
行財政改革課処理欄	※その他財源の財産収入は、立木売却収入。 ※その他税源の繰入金は、市行造林基金繰入金。		

農023	項目名	森林病害虫防除事業費	新規事業
予算書項目	森林病害虫防除事業費	ページ	243
年度	R2	所 属 名	農林水産部 林務水産課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】林務係 0857-30-8311		
款 農林水産業費	【10次総の施策体系】2104		
項 林産業費	【事業の経過及び背景】 海岸部の松林において松くい虫被害が発生している。		
目 林業総務費	【事業の目的及び効果】 森林は、木材等林産物の供給を始め、水源かん養などの公益的機能の発揮により、国土の保全、自然環境の保全、形成等を通じて、生活の向上及び経済の発展に大きく寄与している。これら森林の持つ公益的機能を高度に発揮するため、森林病害虫等を早期に駆除し、そのまん延を防止する。		
(単位：千円)	【事業内容・実績（過去3年）】 (事業の内容) 松くい虫対策（地上散布34ha、樹幹注入594本（福部、青島）、特別伐倒駆除11m3、養蜂移転100基（地上散布）） (事業の実績)		
前年度当初予算額	13,470	事業費	
本年度要求額	17,320	平成29年度	12,938千円
総務部長段階査定額	16,142	平成30年度	11,646千円
市長段階査定額	16,142	令和元年度	11,879千円（見込）
区分	本年度予算額	分担金	0
国・県支出金	13,966	負担金	0
地方債	0	使用料	0
その他	0	手数料	0
一般財源	2,176	財産収入	0
計	16,142	寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
行財政改革課処理欄			

農024	項目名	林業新規就業者支援対策事業費	新規事業
予算書項目	林業労働者雇用条件改善事業費	ページ	243
年度	R2	所 属 名	農林水産部 林務水産課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】林務係 0857-30-8311		
款 農林水産業費	【10次総の施策体系】2104		
項 林産業費	【事業の経過及び背景】 森林資源が充実し、間伐や主伐・再造林等の事業量の増大が見込まれる中、若者を中心とする新規就業者の確保及び育成が喫緊の課題となっている。新規就業者を一人前の現場技能者として育成するには少なくとも5年程度必要とされているが、育成に係る費用は事業体にとっては負担が大きいため、研修等に要する経費を新規就業者に求めることも多く、新規採用が抑制される要因の1つとなっている。		
目 林業総務費	【事業の目的および効果】 意欲ある林業就業者が負担なく研修を行うため、国が実施する「緑の雇用」事業による研修に必要な道具や装備の購入にかかる費用助成の嵩上げにより、林業就業者及び林業事業体の負担軽減を行い、新規就業者の就業環境の改善を図り、もって新規就業者の増と本市の林業振興を図る。		
(単位：千円)	【事業の内容・実績（過去3年）】 (事業の内容) 国の「緑の雇用」事業によるフォレストワーカー研修1年目の研修生に対し、道具や装備の購入にかかる費用を嵩上げ助成する。 補助率 2/3 研修準備費（道具購入費） 150,000円（上限）×3名分 450,000円 資材費（装備購入費） 46,000円 ×3名分 138,000円 (事業の実績)		
前年度当初予算額	350	平成29年度	259千円 5名分
本年度要求額	1,372	平成30年度	277千円 4名分
総務部長段階査定額	588	令和元年度	207千円 3名分（見込み）
市長段階査定額	588	※その他財源の繰入金は、森林環境譲与税基金繰入金。	
区分	本年度予算額	分担金	0
国・県支出金	0	負担金	0
地方債	0	使用料	0
その他	588	手数料	0
一般財源	0	財産収入	0
計	588	寄付金	0
		繰入金	588
		贈収入	0
		その他	0
行財政改革課処理欄			

農025	項目名	森林経営管理事業費	新規事業
予算書項目	森林経営管理事業費	ページ	243
年度	R2	所 属 名	農林水産部 林務水産課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】林務係 0857-30-8311		
款 農林水産業費	【10次総の施策体系】2104		
項 林産業費	【事業の経過及び背景】 戦後造成された人工林が主伐期を迎えようとしている一方、所有者の高齢化、零細化により経営・管理が行き届いていない森林が増加している。このため、新たな経営管理システムを構築すべく、「森林経営管理法」が平成30年5月に制定された。		
目 林業総務費	【事業の目的及び効果】 森林所有者が自ら経営・管理を実行できない場合、市町村が経営管理を受託し、意欲と能力のある林業経営者への再委託若しくは市町村が自ら管理することにより、林業の成長産業化と森林資源の適切な管理を図る。なお、本事業は森林環境譲与税を財源としている。		
(単位：千円)	【事業の内容・実績】 (事業の内容) 森林経営管理を推進するため必要なシステムの整備や森林の現況調査を行う。 ○森林環境譲与税活用事業 森林現況等調査委託業務他 8,670千円 (事業の実績) 令和元年度 16,702千円 林地台帳の高度化・森林の現況調査(見込み)		
前年度当初予算額	36,100	※その他財源の繰入金は、森林環境譲与税基金繰入金。	
本年度要求額	9,593		
総務部長段階査定額	8,670	その他財源の内訳	
市長段階査定額	8,670	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	8,670
		贈収入	0
		その他	0
区分	本年度予算額		
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	8,670		
一般財源	0		
計	8,670		
行財政改革課処理欄			

農026	項目名	林道改良事業費	新規事業
予算書項目	林道維持管理事業費	ページ	243
年度	R2	所 属 名	農林水産部 林務水産課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】林務係 0857-30-8311		
款 農林水産業費	【10次総の施策体系】2104		
項 林産業費	【事業の経過及び背景】 効率的な森林施業の促進を図るため、森林所有者から林業機械の利用に対応することができる林道の改良が要望されている。		
目 林業振興費	【事業の目的及び効果】 林業機械での施業に対応するため林道の改良・舗装を行い、安全な交通を確保し、効率的な森林施業の促進を図る。		
(単位：千円)	【事業の内容・実績(過去3年)】 (事業の内容) ○林道高路岩坪線拡幅改良(改良L=315m、舗装L=535m) 工 事 費 21,000千円 (改良11,700千円、舗装9,300千円) ○長寿命化計画策定のための施設点検調査委託(橋梁30橋) 委 託 費 11,044千円 (事業の実績) 林道高路岩坪線 林道中山線 林道山葵谷線 平成29年度 27,599千円 13,000千円 4,590千円 平成30年度 26,515千円 5,416千円 令和元年度 25,000千円(見込み) 5,000千円(見込み)		
前年度当初予算額	28,459		
本年度要求額	45,762		
総務部長段階査定額	32,406	その他財源の内訳	
市長段階査定額	32,406	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
区分	本年度予算額		
財源内訳			
国・県支出金	17,072		
地方債	9,500		
その他	0		
一般財源	5,834		
計	32,406		
行財政改革課処理欄			

農027	項目名 造林事業費		新規事業																																																																														
予算書項目	造林事業費	ページ	243																																																																														
年度	R2	所 属 名 農林水産部 林務水産課																																																																															
会計名	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>一般会計</td></tr> <tr><td>款 農林水産業費</td></tr> <tr><td>項 林産業費</td></tr> <tr><td>目 林業振興費</td></tr> </table>			一般会計	款 農林水産業費	項 林産業費	目 林業振興費																																																																										
一般会計																																																																																	
款 農林水産業費																																																																																	
項 林産業費																																																																																	
目 林業振興費																																																																																	
事業の概要																																																																																	
<p>【問合せ先】林務係 0857-30-8311</p> <p>【10次総の施策体系】2104</p> <p>【事業の経過及び背景】 木材価格の低迷、林家の高齢化などにより、適切な森林施業が遅れており、林地の荒廃が進んでいる。</p> <p>【事業の目的及び効果】 適正な森林造成計画を計画的かつ効果的に推進するために必要な補助金を交付し、もって本市林業の振興を図る。</p> <p>【事業内容・実績（過去3年）】 (事業の内容) ①補助率 ○間伐（普通林）10%（保安林）5% 竹林樹種転換 5% （※地元負担が15%になるよう市が嵩上げ補助を実施） ○センダン造林 10% （※地元負担が5%になるよう市が嵩上げ補助を実施） ○クヌギ・カラマツ・コウヨウザン造林 10%</p> <table style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:10%;">②事業量</td> <td style="width:40%;">クヌギ造林</td> <td style="width:10%;">49.80ha</td> <td style="width:10%;">9,652千円</td> <td style="width:10%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td>センダン造林</td> <td>2.00ha</td> <td>48千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>カラマツ造林</td> <td>8.39ha</td> <td>1,100千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>コウヨウザン造林</td> <td>4.66ha</td> <td>600千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>間伐（普通林）</td> <td>244.78ha</td> <td>16,392千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>間伐（保安林）</td> <td>107.79ha</td> <td>4,413千円</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>合計</td> <td>417.42ha</td> <td>32,205千円</td> <td></td> </tr> </table> <p>(事業の実績) 平成29年度 間伐・竹林林種転換 318.01ha 21,545千円 平成30年度 間伐・竹林林種転換 372.34ha 23,994千円 令和元年度 間伐・竹林林種転換 403.60ha 28,699千円（見込み）</p>				②事業量	クヌギ造林	49.80ha	9,652千円			センダン造林	2.00ha	48千円			カラマツ造林	8.39ha	1,100千円			コウヨウザン造林	4.66ha	600千円			間伐（普通林）	244.78ha	16,392千円			間伐（保安林）	107.79ha	4,413千円			合計	417.42ha	32,205千円																																												
②事業量	クヌギ造林	49.80ha	9,652千円																																																																														
	センダン造林	2.00ha	48千円																																																																														
	カラマツ造林	8.39ha	1,100千円																																																																														
	コウヨウザン造林	4.66ha	600千円																																																																														
	間伐（普通林）	244.78ha	16,392千円																																																																														
	間伐（保安林）	107.79ha	4,413千円																																																																														
	合計	417.42ha	32,205千円																																																																														
<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:15%;">(単位：千円)</td> <td style="width:15%;">前年度当初予算額</td> <td style="width:15%;">30,722</td> <td style="width:15%;"></td> <td style="width:15%;"></td> <td style="width:15%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td>本年度要求額</td> <td>42,948</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>総務部長段階査定額</td> <td>32,205</td> <td colspan="3">その他財源の内訳</td> </tr> <tr> <td></td> <td>市長段階査定額</td> <td>32,205</td> <td>分担金</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>負担金</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>使用料</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>手数料</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>財産収入</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>寄付金</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>繰入金</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>贈収入</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>その他</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td colspan="3">行財政改革課処理欄</td> </tr> </table>				(単位：千円)	前年度当初予算額	30,722					本年度要求額	42,948					総務部長段階査定額	32,205	その他財源の内訳				市長段階査定額	32,205	分担金	0					負担金	0					使用料	0					手数料	0					財産収入	0					寄付金	0					繰入金	0					贈収入	0					その他	0					行財政改革課処理欄		
(単位：千円)	前年度当初予算額	30,722																																																																															
	本年度要求額	42,948																																																																															
	総務部長段階査定額	32,205	その他財源の内訳																																																																														
	市長段階査定額	32,205	分担金	0																																																																													
			負担金	0																																																																													
			使用料	0																																																																													
			手数料	0																																																																													
			財産収入	0																																																																													
			寄付金	0																																																																													
			繰入金	0																																																																													
			贈収入	0																																																																													
			その他	0																																																																													
			行財政改革課処理欄																																																																														

農028	項目名 間伐搬出支援事業費		新規事業																																																																														
予算書項目	造林事業費	ページ	243																																																																														
年度	R2	所 属 名 農林水産部 林務水産課																																																																															
会計名	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>一般会計</td></tr> <tr><td>款 農林水産業費</td></tr> <tr><td>項 林産業費</td></tr> <tr><td>目 林業振興費</td></tr> </table>			一般会計	款 農林水産業費	項 林産業費	目 林業振興費																																																																										
一般会計																																																																																	
款 農林水産業費																																																																																	
項 林産業費																																																																																	
目 林業振興費																																																																																	
事業の概要																																																																																	
<p>【問合せ先】林務係 0857-30-8311</p> <p>【10次総の施策体系】2104</p> <p>【事業の経過及び背景】 県産材の有効利用を目的とし、鳥取県の補助金（1m3あたり2,800円）に嵩上げすることで、森林施業の促進を図る。</p> <p>【事業の目的及び効果】 間伐施業の促進と間伐材の利用拡大を図るため、間伐材搬出支援を行う。</p> <p>【事業の内容・実績（過去3年）】 (事業の内容) 間伐材搬出支援（間伐材搬出1m3あたり500円を補助） （搬出量）45,000m3×500円/m3=（補助金）22,500千円</p> <p>(事業の実績) 平成29年度 23,235千円 平成30年度 21,883千円 令和元年度 20,820千円（見込み）</p>																																																																																	
<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:15%;">(単位：千円)</td> <td style="width:15%;">前年度当初予算額</td> <td style="width:15%;">25,000</td> <td style="width:15%;"></td> <td style="width:15%;"></td> <td style="width:15%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td>本年度要求額</td> <td>31,475</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>総務部長段階査定額</td> <td>22,500</td> <td colspan="3">その他財源の内訳</td> </tr> <tr> <td></td> <td>市長段階査定額</td> <td>22,500</td> <td>分担金</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>負担金</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>使用料</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>手数料</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>財産収入</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>寄付金</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>繰入金</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>贈収入</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>その他</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td colspan="3">行財政改革課処理欄</td> </tr> </table>				(単位：千円)	前年度当初予算額	25,000					本年度要求額	31,475					総務部長段階査定額	22,500	その他財源の内訳				市長段階査定額	22,500	分担金	0					負担金	0					使用料	0					手数料	0					財産収入	0					寄付金	0					繰入金	0					贈収入	0					その他	0					行財政改革課処理欄		
(単位：千円)	前年度当初予算額	25,000																																																																															
	本年度要求額	31,475																																																																															
	総務部長段階査定額	22,500	その他財源の内訳																																																																														
	市長段階査定額	22,500	分担金	0																																																																													
			負担金	0																																																																													
			使用料	0																																																																													
			手数料	0																																																																													
			財産収入	0																																																																													
			寄付金	0																																																																													
			繰入金	0																																																																													
			贈収入	0																																																																													
			その他	0																																																																													
			行財政改革課処理欄																																																																														

農029	項目名	竹林整備事業費	新規事業
予算書項目	造林事業費	ページ	243
年度	R2	所 属 名	農林水産部 林務水産課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】林務係 0857-30-8311		
款 農林水産業費	【10次総の施策体系】2104		
項 林産業費	【事業の経過及び背景】 拡大する竹対策として、鳥取県森林環境保全税を財源に竹林の抜き伐り等を実施し、竹林整備に取り組む。		
目 林業振興費	【事業の目的及び効果】 適正な管理ができていない竹林の抜き伐り等に対し補助を行う。		
(単位：千円)	【事業内容・実績（過去3年）】		
前年度当初予算額	24,179	(事業の内容) 負担区分 森林環境保全税関連事業 補助率 県 80% 市 5%	
本年度要求額	23,849	抜き伐り 22,361千円(事業費ベース) 4.92ha 19,005千円(補助金ベース) (補助内訳：県17,887千円 市1,118千円)	
総務部長段階査定額	19,005	その他の財源の内訳	
市長段階査定額	19,005	分担金	0
区分	本年度予算額	負担金	0
国・県支出金	17,887	使用料	0
地方債	0	手数料	0
その他	0	財産収入	0
一般財源	1,118	寄付金	0
計	19,005	繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
行財政改革課処理欄			

農030	項目名	単県斜面崩壊復旧事業費	新規事業
予算書項目	治山事業費	ページ	243
年度	R2	所 属 名	農林水産部 林務水産課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】林務係 0857-30-8311		
款 農林水産業費	【10次総の施策体系】2104		
項 林産業費	【事業の経過及び背景】 国庫補助事業（治山事業及び急傾斜地崩壊対策事業）及び単県急傾斜地崩壊対策事業の対象とならない荒廃林地及び急傾斜地において復旧事業を行い公共施設、人家等を保全するもの。		
目 林業振興費	【事業の目的及び効果】 大雨等により崩落した山腹を復旧し、家屋等への被害を防止する。		
(単位：千円)	【事業の内容・実績（過去3年）】		
前年度当初予算額	27,700	(事業の内容) 単県斜面崩壊復旧工事	
本年度要求額	27,300	青谷町大坪地内 事業費 10,500千円 青谷町露谷地内 事業費 6,000千円 気高町奥沢見地内 事業費 5,500千円	
総務部長段階査定額	22,000	その他の財源の内訳	
市長段階査定額	22,000	分担金	0
区分	本年度予算額	負担金	2,200
国・県支出金	9,900	使用料	0
地方債	9,900	手数料	0
その他	2,200	財産収入	0
一般財源	0	寄付金	0
計	22,000	繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
行財政改革課処理欄	※その他の財源の負担金は、地元負担金。		

農031	項目名	森林整備地域活動支援交付金交付事業費		新規事業
予算書項目	森林整備地域活動支援推進事業費		ページ	243
年度	R2		所 属 名	農林水産部 林務水産課
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】林務係 0857-30-8311			
款 農林水産業費	【10次総の施策体系】2104			
項 林産業費	【事業の経過及び背景】 森林の有する多面的機能が十分に発揮されるよう、森林経営計画の作成を通じた計画的かつ適切な森林整備の推進を図るため、森林整備地域活動支援交付金を交付し、「森林経営計画作成促進」、「森林境界の明確化」、「森林経営計画・森林境界明確化に向けた条件整備」などの地域における活動の確保を図るもの。			
目 林業振興費	【事業の目的及び効果】 適切な森林整備の推進を通じて、森林の有する多面的機能の発揮を図る観点から森林所有者等による施業の実施に不可欠な地域活動を支援する。			
(単位：千円)	【事業内容・実績（過去3年）】			
前年度当初予算額	9,000	(事業の内容) 森林経営計画作成促進 事業費 1,125ha × 8千円 = 9,000千円 (国・県負担 3/4)		
本年度要求額	11,200	支出金 9,000千円 × 3/4 = 6,750千円		
総務部長段階査定額	9,000	【事業の実績】		
市長段階査定額	9,000	平成29年度 6,842千円 平成30年度 8,391千円 令和元年度 9,000千円(見込み)		
区分	本年度予算額	その他財源の内訳		
国・県支出金	6,750	分担金	0	
地方債	0	負担金	0	
その他	0	使用料	0	
一般財源	2,250	手数料	0	
計	9,000	財産収入	0	
		寄付金	0	
		繰入金	0	
		贈収入	0	
		その他	0	
行財政改革課処理欄				

農032	項目名	森づくり作業道整備事業費		新規事業
予算書項目	森づくり作業道整備事業費		ページ	243
年度	R2		所 属 名	農林水産部 林務水産課
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】林務係 0857-30-8311			
款 農林水産業費	【10次総の施策体系】2104			
項 林産業費	【事業の経過及び背景】 国・県の作業道補助事業とあわせて、作業道等整備事業に補助を行う。			
目 林業振興費	【事業の目的及び効果】 健全な森林の維持管理、作業コスト低減等を図るため、作業道等の整備を促進する。			
(単位：千円)	【事業の内容・実績（過去3年）】			
前年度当初予算額	15,505	(事業の内容)		
本年度要求額	23,780	①造林作業道整備の補助金 (条件付きで普通林17%、保安林5%を上乗せ) ※国、県の補助と合わせると、補助率85% 作業道整備(普通林) 34,930m 作業道整備(保安林) 23,100m 合計 58,030m		
総務部長段階査定額	17,027	②林業専用道整備の補助金(上乗せ)【新規】 ※事業費から国・県補助金を減じた額の1/2(補助上限有) 林業専用道整備 1,200m		
市長段階査定額	17,027	【事業の実績】		
区分	本年度予算額	平成29年度 6,254千円 (54路線 29,463m)		
国・県支出金	0	平成30年度 9,508千円 (51路線 38,433m)		
地方債	0	令和元年度 16,036千円 (見込み)		
その他	0			
一般財源	17,027			
計	17,027			
		分担金	0	
		負担金	0	
		使用料	0	
		手数料	0	
		財産収入	0	
		寄付金	0	
		繰入金	0	
		贈収入	0	
		その他	0	
行財政改革課処理欄				

農033	項目名 県営林道整備事業費		新規事業			
予算書項目	県営林道整備事業費	ページ	245			
年度	R2	所 属 名 農林水産部 林務水産課				
会計名		<div style="text-align: center; border: 1px solid black; background-color: #cccccc; margin-bottom: 5px;">事業の概要</div> <p>【問合せ先】林務係 0857-30-8311</p> <p>【10次総の施策体系】2104</p> <p>【事業の経過及び背景】 県営事業として林道桑原河内線、箆山線の築造・舗装・法面工事を実施。</p> <p>【事業の目的及び効果】 県営事業で施行する林道開設事業の実施に伴う事業費の負担をする。</p> <p>【事業の内容・実績（過去3年）】 （事業の内容） （1）工事負担金 ①桑原河内線 開設工事 6,000千円（事業費 80,000千円） （2）県単用地 ①桑原河内線 675千円 4,500m²×150円=675千円（県補助 225千円） （事業の実績） 平成29年度 2,826千円 平成30年度 8,193千円 令和元年度 11,150千円（見込み）</p>				
一般会計						
款 農林水産業費						
項 林産業費						
目 林業振興費						
(単位：千円)						
前年度当初予算額	15,650					
本年度要求額	11,175					
総務部長段階査定額	6,675			その他財源の内訳		
市長段階査定額	6,675			分担金	0	
区 分	本年度予算額			負担金	0	
財源内訳	国・県支出金			225	使用料	0
	地方債			6,400	手数料	0
	その他			0	財産収入	0
	一般財源			50	寄付金	0
	計			6,675	繰入金	0
				贈収入	0	
				その他	0	
行財政改革課処理欄						

農034	項目名 林産物振興対策事業費		新規事業			
予算書項目	林産物振興対策事業費	ページ	245			
年度	R2	所 属 名 農林水産部 林務水産課				
会計名		<div style="text-align: center; border: 1px solid black; background-color: #cccccc; margin-bottom: 5px;">事業の概要</div> <p>【問合せ先】林務係 0857-30-8311</p> <p>【10次総の施策体系】2104</p> <p>【事業の経緯及び背景】 本市の特産品である椎茸の生産量は年々減少傾向にあるため、椎茸の生産、出荷、販売を促進する必要がある。</p> <p>【事業の目的及び効果】 本市の特産品である椎茸の生産、出荷及び販売を促進することで、消費拡大及び生産者の意欲向上を図り、椎茸の生産振興を目的とする。また、新規参加者に対し支援を行うことで、椎茸産地としての持続的な発展を目指す。</p> <p>【事業の内容・実績（過去3年）】 （事業の内容） ①椎茸の種菌の購入を行う際の当該購入に要する経費を助成 補助率 新規生産者：1/4以内、既存生産者：1/5以内 ◎1,005千円 ②椎茸のイベント開催やパンフレット作成等による販売促進に要する経費を助成 補助率 1/3以内 ◎200千円 ③新規参加者が業者から原木を購入する場合、購入に要する経費を助成 補助率 1/3以内 ◎100千円 （事業の実績） 平成29年度 1,803千円 平成30年度 540千円 令和元年度 1,477千円（見込み）</p>				
一般会計						
款 農林水産業費						
項 林産業費						
目 林業振興費						
(単位：千円)						
前年度当初予算額	1,477					
本年度要求額	1,305					
総務部長段階査定額	1,305			その他財源の内訳		
市長段階査定額	1,305			分担金	0	
区 分	本年度予算額			負担金	0	
財源内訳	国・県支出金			0	使用料	0
	地方債			0	手数料	0
	その他			0	財産収入	0
	一般財源			1,305	寄付金	0
	計			1,305	繰入金	0
				贈収入	0	
				その他	0	
行財政改革課処理欄						

農035	項目名	地域おこし協力隊事業費	新規事業
予算書項目	林産物振興対策事業費	ページ	245
年度	R2	所 属 名	農林水産部 林務水産課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】林務係 0857-30-8311		
款 農林水産業費	【10次総の施策体系】2104		
項 林産業費	【事業の経過及び背景】 県内原木しいたけ生産者は高齢化が進み、生産者数は昭和59年の1,399人から、平成27年は280人と大きく減少している。現在、鳥取県下で「鳥取茸王」のブランド化が推進されており、原木しいたけの生産振興を図ることが重要となっている。		
目 林業振興費	【事業の目的及び効果】 原木しいたけ生産者が減少する中、鳥取ブランド「鳥取茸王」を生産する新規生産者の増加を目指し、地域おこし協力隊により都市住民を受け入れ、青谷町において原木しいたけの生産に従事し、地域に定着することで、原木しいたけ生産の振興を図る。		
(単位：千円)	【事業内容・実績（過去3年）】		
前年度当初予算額	4,283	(事業の内容) 地域おこし協力隊事業（1名 青谷地域に在住）	
本年度要求額	4,679	(事業の実績)	
総務部長段階査定額	4,679	平成29年度	105千円
市長段階査定額	4,679	平成30年度	4,432千円
		令和元年度	4,283千円（見込み）
区分	本年度予算額	その他財源の内訳	
財源内訳		分担金	0
国・県支出金	0	負担金	0
地方債	0	使用料	0
その他	0	手数料	0
一般財源	4,679	財産収入	0
計	4,679	寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
行財政改革課処理欄			

農036	項目名	林業・木材産業強化総合対策事業費	新規事業
予算書項目	林業・木材産業強化総合対策事業費	ページ	245
年度	R2	所 属 名	農林水産部 林務水産課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】林務係 0857-30-8311		
款 農林水産業費	【10次総の施策体系】2104		
項 林産業費	【事業の経緯及び背景】 戦後造成した人工林が本格的な利用期を迎える中、これらの森林資源を循環利用し、林業の成長産業化を図ることが重要である。そのため、意欲と能力のある林業経営体を育成し、木材生産を通じた持続的な林業経営を確立するための高性能林業機械の導入支援等を行う必要がある。		
目 林業振興費	【事業の目的及び効果】 意欲と能力のある林業経営体に対し、原木を低コストで安定的に供給するための高性能林業機械の導入に対し支援を行う。		
(単位：千円)	【事業の内容・実績（過去3年）】		
前年度当初予算額	40,750	(事業の内容)	
本年度要求額	12,500	高性能林業機械の導入	
総務部長段階査定額	12,500	ハーベスタ1台 25,000千円×1台×1/2=12,500千円（補助率1/2）	
市長段階査定額	12,500	(事業の実績)	
		平成30年度	7,000千円
		令和元年度	23,400千円（見込み）
区分	本年度予算額	その他財源の内訳	
財源内訳		分担金	0
国・県支出金	12,500	負担金	0
地方債	0	使用料	0
その他	0	手数料	0
一般財源	0	財産収入	0
計	12,500	寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
行財政改革課処理欄			

農037	項目名	水産資源維持増殖事業費		新規事業
予算書項目	水産資源維持増殖事業費	ページ	247	所 属 名
年度	R2	農林水産部 林務水産課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】水産漁港係 0857-30-8312			
款 農林水産業費	【10次総の施策体系】2104			
項 水産業費	【事業の経過及び背景】 千代川・湖山池は市民にとって身近な水辺空間であるとともに、内水面漁業の漁場であり、それらの機能維持を図るため、内水面漁業協同組合が行う放流に要する経費を助成してきた。			
目 水産業振興費	【事業の目的及び効果】 水産資源の維持増殖による内水面漁業の振興及び千代川・湖山池流域の地域振興やレクリエーション機会の増大に寄与する。			
(単位：千円)	【事業の内容・実績】 (事業の内容) 概要：鮎等の内水面水産資源の維持増殖を図る放流事業に対する助成等 実施主体：千代川漁業協同組合、湖山池漁業協同組合、市 事業費：千代川流域 11,640千円（市6,020千円、水道局5,620千円） 30千円（市15千円、魚の豊かな川づくり基金15千円） 湖山池流域 400千円			
前年度当初予算額	12,850	(事業の実績)		
本年度要求額	12,070	○千代川流域 事業費 鮎放流量 平成29年度 11,534千円 3.57t 平成30年度 12,000千円 4.01t 令和元年度 11,480千円 3.79t（見込み）		
総務部長段階査定額	12,070	○湖山池流域 事業費 シジミ産卵場整備 平成29年度 - - 平成30年度 400千円 一式 令和元年度 400千円 一式（見込み）		
市長段階査定額	12,070	※その他財源の諸収入は、水道局負担金及び魚の豊かな川づくり基金助成金。		
区分	本年度予算額	その他財源の内訳		
財源内訳	国・県支出金 0	分担金	0	
地方債	0	負担金	0	
その他	5,635	使用料	0	
一般財源	6,435	手数料	0	
計	12,070	財産収入	0	
		寄付金	0	
		繰入金	0	
		贈収入	5,635	
		その他	0	
行財政改革課処理欄				

農038	項目名	鳥取かにフェスタ開催事業費補助金		新規事業
予算書項目	鳥取かにフェスタ開催事業費	ページ	247	所 属 名
年度	R2	農林水産部 林務水産課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】水産漁港係 0857-30-8312			
款 農林水産業費	【10次総の施策体系】2104			
項 水産業費	【事業の経過及び背景】 市民はもとより県内外の方々に賀露西浜地区の水産業を柱とする地域開発及び水産業の発展等をアピールするため、平成12年より「鳥取かにフェスタ」が開催されている。			
目 水産業振興費	【事業の目的及び効果】 松葉がにの産地としての鳥取市を情報発信し、併せて地元水産業の振興を図る。 賀露地域における松葉がにを県内外にPRすることで認知度を高め、消費拡大や魚価向上に努める。			
(単位：千円)	【事業の内容・実績】 (事業の内容) 概要 「鳥取かにフェスタ」開催事業費補助金 事業主体 鳥取かにフェスタ実行委員会 開催予定時期 令和2年11月			
前年度当初予算額	600	(事業の実績)		
本年度要求額	600	事業費 来場者数 平成29年度 720千円 20千人 平成30年度 600千円 15千人 令和元年度 600千円 15千人		
総務部長段階査定額	600	その他財源の内訳		
市長段階査定額	600	分担金	0	
区分	本年度予算額	負担金	0	
財源内訳	国・県支出金 0	使用料	0	
地方債	0	手数料	0	
その他	0	財産収入	0	
一般財源	600	寄付金	0	
計	600	繰入金	0	
		贈収入	0	
		その他	0	
行財政改革課処理欄				

農039	項目名	漁業経営開始円滑化事業費	新規事業
------	-----	--------------	------

予算書項目	漁業経営開始円滑化事業費	ページ	247
-------	--------------	-----	-----

所 属 名	農林水産部 林務水産課
-------	----------------

年度	R2
----	----

会計名	一般会計
款	農林水産業費
項	水産業費
目	水産業振興費

事業の概要	
【問合せ先】水産漁港係 0857-30-8312	
【10次総の施策体系】2104	
【事業の経過及び背景】 漁業後継者の不足の一因として、漁業の専業経営を目指す新規就業者が新たに着業する際、漁船等の初期投資に多大な費用を要することがあげられる。	
【事業の目的及び効果】 漁業就業時に必要な漁船等の初期投資に対して助成することにより漁業の新規就業者の円滑な確保を実現する。	
【事業の内容・実績】 (事業の内容) 概要 漁協が漁船、漁具等を購入し新規就業者にリースする。 実施主体 鳥取県漁業協同組合 対象経費 漁船及び漁具等 30,000千円(上限額) × 2/3 = 20,000千円 1名 負担割合 県1/2、市1/6 (事業の実績) 平成29年度 1,000千円(漁船、漁具等1名) 平成30年度 0千円 令和元年度 0千円	

(単位：千円)

前年度当初予算額	0
----------	---

本年度要求額	20,000
--------	--------

総務部長段階査定額	20,000	その他財源の内訳
-----------	--------	----------

分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
贈収入	0
その他	0

市長段階査定額	20,000
---------	--------

区 分	本年度予算額
国・県支出金	15,000
地方債	0
その他	0
一般財源	5,000
計	20,000

行財政改革課処理欄

農040	項目名	沖合底びき網漁業生産体制存続事業費	新規事業
------	-----	-------------------	------

予算書項目	沖合底びき網漁業生産体制存続事業費	ページ	247
-------	-------------------	-----	-----

所 属 名	農林水産部 林務水産課
-------	----------------

年度	R2
----	----

会計名	一般会計
款	農林水産業費
項	水産業費
目	水産業振興費

事業の概要	
【問合せ先】水産漁港係 0857-30-8312	
【10次総の施策体系】2104	
【事業の経過及び背景】 沖合底びき網漁業は、本市特産品「松葉がに」「ハタハタ」等を漁獲し、県東部地域の経済や観光において重要な漁業である。しかし、漁船購入等の初期投資は極めて高額であり、また、維持管理費も高額であることに加え、乗組員等の不足、魚価の低迷等の理由で経営体は減少傾向であり、このままでは沖合底びき網漁業の存続が危惧されている。	
【事業の目的及び効果】 意欲ある漁業者に対して漁船リース事業や機器等整備事業を推進する事により、本市の漁獲高の大半を占める沖合底びき網漁業の衰退を防止し、本市の漁業振興を図る。	
【事業の内容・実績】 (事業の内容) ①漁船リース事業 概要 リース料の付加料部分(固定資産税、登録免許税、支払利息、保証料、漁協事務費、漁船保険料)を国、県、市で補助する。 事業主体 鳥取県漁業協同組合 事業期間 16年(H23~R8年度) 事業費 5,340千円/年 ②機器等整備事業 概要 機器・漁具等を整備する経費の一部を県、市で補助する。 事業主体 網浜水産株式会社 事業費 1,940千円 魚体選別機 (事業の実績) 平成29年度 7,240千円 平成30年度 9,873千円 令和元年度 7,205千円(見込み)	

(単位：千円)

前年度当初予算額	5,340
----------	-------

本年度要求額	7,280
--------	-------

総務部長段階査定額	7,280	その他財源の内訳
-----------	-------	----------

分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
贈収入	0
その他	0

市長段階査定額	7,280
---------	-------

区 分	本年度予算額
国・県支出金	4,141
地方債	0
その他	0
一般財源	3,139
計	7,280

行財政改革課処理欄

農041	項目名	漁港施設維持管理事業費	新規事業
予算書項目	漁港施設維持管理事業費	ページ	247
年度	R2	所 属 名	農林水産部 林務水産課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】水産漁港係 0857-30-8312		
款 農林水産業費	【10次総の施策体系】2104		
項 水産業費	【事業の経過及び背景】 平成12年度、鳥取県から第1種漁港である岩戸漁港（福部町）、酒津漁港・船磯漁港（気高町）、夏泊漁港・長瀬漁港（青谷町）の5漁港が譲渡され、鳥取市管理の漁港は青谷漁港と併せて6漁港となった。		
目 水産業振興費	【事業の目的及び効果】 第1種漁港の管理者として、漁港及び関連施設の維持管理を行い、安全安心な漁業経営に寄与する。		
(単位：千円)	【事業の内容・実績】 (事業の内容) 漁港施設維持管理（光熱水費、維持修繕費等） 一式 ・福部地域 6,227千円 ・気高地域 19,749千円 ・青谷地域 17,526千円 (事業の実績) 平成29年度 71,164千円 平成30年度 81,144千円 令和元年度 43,184千円（見込み）		
前年度当初予算額	43,960	※その他財源の使用料は、漁港施設占用料。	
本年度要求額	49,673		
総務部長段階査定額	43,502	その他財源の内訳	
市長段階査定額	43,502	分担金	0
		負担金	0
		使用料	3,219
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
区分	本年度予算額		
財源内訳			
国・県支出金	3,483		
地方債	0		
その他	3,219		
一般財源	36,800		
計	43,502		
行財政改革課処理欄			

農042	項目名	栽培漁業推進支援事業費	新規事業
予算書項目	栽培漁業推進支援事業費	ページ	247
年度	R2	所 属 名	農林水産部 林務水産課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】水産漁港係 0857-30-8312		
款 農林水産業費	【10次総の施策体系】2104		
項 水産業費	【事業の経過及び背景】 本市は県と連携しながら栽培漁業を推進し、水産物の安定供給・地域振興に資するため、漁業者が行う種苗放流事業に助成してきた。		
目 水産業振興費	【事業の目的及び効果】 漁場再生、漁業振興及び漁村の活性化のため、稚貝等を放流し漁獲量の増加を図る。		
(単位：千円)	【事業の内容・実績】 (事業の内容) 放流種苗等 アワビ 23,700個 サザエ 53,000個 キジハタ 27,941尾 事業費 5,489千円（内市助成額1,447千円） (事業の実績) 事業費 市 平成29年度 5,383千円 1,075千円 平成30年度 5,636千円 1,119千円 令和元年度 5,852千円 1,162千円（見込み）		
前年度当初予算額	1,162		
本年度要求額	1,447		
総務部長段階査定額	1,447	その他財源の内訳	
市長段階査定額	1,447	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
区分	本年度予算額		
財源内訳			
国・県支出金	731		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	716		
計	1,447		
行財政改革課処理欄			

農043	項目名	漁港施設機能保全事業費	新規事業
予算書項目	漁港建設事業費	ページ	247
年度	R2	所 属 名	農林水産部 林務水産課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】水産漁港係 0857-30-8312		
款 農林水産業費	【10次総の施策体系】2104		
項 水産業費	【事業の目的及び効果】 本市の第1種漁港は、近年、老朽化に伴い更新等が必要な漁港施設が増加している。施設の維持管理を体系的に捉え、計画的に更新することにより、施設の長寿命化を図りつつ更新コストの平準化・縮減を図る。		
目 水産業振興費	【事業の内容・実績】 (事業の内容) 漁港施設機能保全計画に定めた対策工事・実施設計を行うとともに、漁港海岸保全施設の長寿命化対策のための計画策定を実施する。 船磯漁港機能保全工事（基本施設） 44,276千円 夏泊漁港機能保全工事（水域施設） 2,889千円 夏泊漁港機能増進工事、詳細設計（サンドポケット）14,006千円 漁港海岸施設長寿命化計画策定業務（岩戸、船磯、長和瀬）17,717千円 (事業の実績) 平成27～29年度 酒津・船磯・夏泊漁港機能保全計画策定業務 一式 平成30年度 酒津・船磯漁港機能保全工事、詳細設計、 青谷海岸保全施設長寿命化計画策定業務 一式 令和元年度 酒津・船磯・夏泊漁港機能保全工事、 夏泊漁港海岸保全施設長寿命化計画策定業務 一式		
(単位：千円)			
前年度当初予算額	186,800		
本年度要求額	152,561		
総務部長段階査定額	79,319	その他財源の内訳	
市長段階査定額	79,319	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
区分	本年度予算額		
財源内訳			
国・県支出金	39,443		
地方債	28,600		
その他	0		
一般財源	11,276		
計	79,319		
行財政改革課処理欄			

農044	項目名	漁業研修事業費	新規事業
予算書項目	漁業振興対策事業費	ページ	247
年度	R2	所 属 名	農林水産部 林務水産課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】水産漁港係 0857-30-8312		
款 農林水産業費	【10次総の施策体系】2104		
項 水産業費	【事業の経過及び背景】 現在、漁業就労者は減少傾向にあり、また高齢化も進行しており将来の漁業者の不足が懸念されている。また、新規に漁業への就業を希望する者はほとんど漁業経験がなく新たに漁業に従事するためには漁業技術の研修が必要である。		
目 水産業振興費	【事業の目的及び効果】 漁業経営体・漁協等が新規漁業就業希望者に対し、漁業技術等の研修を実施することにより、新規就業者を円滑に育成し、水産業の振興を図る。		
(単位：千円)			
前年度当初予算額	7,214		
本年度要求額	16,483		
総務部長段階査定額	13,660	その他財源の内訳	
市長段階査定額	13,660	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
区分	本年度予算額		
財源内訳			
国・県支出金	11,929		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	1,731		
計	13,660		
行財政改革課処理欄			
	【事業の内容・実績】 (事業の内容) 新規漁業就業希望者へ漁業技術や経営方法等習得のために行う研修に必要な費用を助成する。 事業主体 漁業経営体、漁協等 事業対象漁業種 沿岸漁業、沖合底びき網漁業 雇用予定者 新規3名、継続2名 事業費 13,660千円（県 11,929千円、市 1,731千円） (事業の実績) 平成29年度 2,129千円（4名） 平成30年度 4,053千円（3名） 令和元年度 8,035千円（5名）（見込み）		

農045	項目名	水道事業会計へ繰出	新規事業
予算書項目	水道事業会計へ繰出	ページ	231
年度	R2	所 属 名	農林水産部 農村整備課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】総務係 0857-30-8316		
款 衛生費	【10次総の施策体系】4201		
項 他会計繰出	【事業の経過及び背景】 水道事業会計につき地方公営企業法に規定されているもの及び特に必要と認められるものに対する繰出。		
目 水道事業会計へ繰出	【事業の目的及び効果】 水道事業会計への一般会計からの繰出により市水道局の行う事業の下支えを実施。		
(単位：千円)	【事業の内容・実績】 (事業の内容) ・事業の内容 水道事業会計への繰出(旧簡易水道事業経費負担金等) ・事業費 946,179千円 (事業の実績) 平成29年度 1,080,266千円 平成30年度 954,989千円 令和元年度 941,798千円(見込み)		
前年度当初予算額	1,026,789	総務部長段階査定額	946,179
本年度要求額	968,944	市長段階査定額	946,179
区分	本年度予算額	分担金	0
財源内訳	国・県支出金 0	負担金	0
地方債	63,700	使用料	0
その他	0	手数料	0
一般財源	882,479	財産収入	0
計	946,179	寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
行財政改革課処理欄			

農046	項目名	環境保全型農業直接支払交付金	新規事業
予算書項目	環境保全型農業直接支払交付金	ページ	239
年度	R2	所 属 名	農林水産部 農村整備課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】総務係 0857-30-8316		
款 農林水産業費	【10次総の施策体系】2104		
項 農業費	【事業の経過及び背景】 農業の持続的発展と多面的機能の健全な発揮を図るためには、意欲ある農業者が農業を継続できる環境を整え、国内農業の再生を図るとともに、農業が本来有する自然循環機能を維持・増進することが必要である。このことから、平成27年度より法制化され、本事業を実施している。		
目 農業振興費	【事業の目的及び効果】 環境保全に効果の高い営農活動の普及推進を通じて、農業生産全体のあり方を環境保全を重視したものに転換していくことにより、地球温暖化防止及び生物多様性保全を図る。		
(単位：千円)	【事業の内容・実績】 (事業の内容) ・事業内容 農業者団体等が、化学肥料・化学合成農薬を5割以上低減する取組と合わせて行う地球温暖化防止や生物多様性保全等に効果の高い営農活動を実施した場合に、取組面積に応じて交付する。 ・対象取組 ①有機農業 ②カバークロープ ③堆肥の施用 ④冬期湛水管理 等 ・事業費 9,879千円(負担割合：国50%、県25%、市25%) ・事務費 110千円(負担割合：国100%) (事業の実績) 平成29年度 7,345千円 平成30年度 7,382千円 令和元年度 8,624千円(見込み)		
前年度当初予算額	8,822	総務部長段階査定額	9,989
本年度要求額	9,999	市長段階査定額	9,989
区分	本年度予算額	分担金	0
財源内訳	国・県支出金 7,518	負担金	0
地方債	0	使用料	0
その他	0	手数料	0
一般財源	2,471	財産収入	0
計	9,989	寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
行財政改革課処理欄			

農047	項目名	農道舗装補修等事業費	新規事業
予算書項目	農道舗装補修等事業費	ページ	239
年度	R2	所 属 名	農林水産部 農村整備課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】基盤整備係 0857-30-8317		
款 農林水産業費	【10次総の施策体系】2104		
項 農業費	【事業の経過及び背景】 農業の基礎的な生産基盤である農地の適切な保全管理や、老朽化した農道、用排水路等の農業用施設全般の整備・補修が求められている。		
目 農地費	【事業の目的及び効果】 農道や農業用水路等の農業用施設を整備することにより、効率的な農業運営・管理を実現する。		
(単位：千円)	【事業の内容・実績】 (事業の内容) 単市事業（鳥取県しっかり守る農林基盤交付金事業） ・事業内容 農道舗装、用排水路の補修・改良等。 ・事業費 26,448千円（負担割合：市80%（うち県交付金40%）、地元20%）		
前年度当初予算額	32,038	(事業の実績) 平成29年度 25,295千円 平成30年度 22,498千円 令和元年度 52,163千円（見込み）	
本年度要求額	43,697	※その他財源の負担金は、地元負担金。	
総務部長段階査定額	26,448	その他財源の内訳	
市長段階査定額	32,548	分担金	0
区分	本年度予算額	負担金	5,289
財源内訳		使用料	0
国・県支出金	13,201	手数料	0
地方債	800	財産収入	0
その他	5,289	寄付金	0
一般財源	13,258	繰入金	0
計	32,548	贈収金	0
		その他	0
行財政改革課処理欄			

農048	項目名	畑地帯総合整備事業費	新規事業
予算書項目	県営事業負担金	ページ	239
年度	R2	所 属 名	農林水産部 農村整備課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】基盤整備係 0857-30-8317		
款 農林水産業費	【10次総の施策体系】2104		
項 農業費	【事業の経過及び背景】 青谷町五本松地区は、昭和47年から55年にかけて五本松台地を造成し、これまで梨、花木、椿などを栽培し地場産業の振興に寄与してきた。 しかし、近年は揚水設備の老朽化により揚水能力が低下しており、特に梨栽培において作業効率が低下し、農業者の負担が増加している。		
目 農地費	【事業の目的及び効果】 揚水系統の見直しを含め揚水施設の更新・改修を行い、維持管理の低コスト化及び農業生産性の向上を図る。		
(単位：千円)	【事業の内容・実績】 (事業の内容) ・実施主体 鳥取県（平成29年度～令和2年度） ・事業箇所 青谷町河原、気高町殿（五本松地区） ・事業内容 畑地かんがい施設整備 ・事業費 7,000千円（負担割合：国54.2%、県25%、市10%、地元10.8%） ・市負担額 700千円		
前年度当初予算額	3,000	(事業の実績) 平成29年度 1,620千円 平成30年度 0千円 令和元年度 3,000千円（見込み）	
本年度要求額	700	その他財源の内訳	
総務部長段階査定額	700	分担金	0
市長段階査定額	700	負担金	0
区分	本年度予算額	使用料	0
財源内訳		手数料	0
国・県支出金	0	財産収入	0
地方債	600	寄付金	0
その他	0	繰入金	0
一般財源	100	贈収金	0
計	700	その他	0
行財政改革課処理欄			

農049	項目名	経営体育成基盤整備事業費	新規事業
予算書項目	県営事業負担金	ページ	239
年度	R2	所 属 名	農林水産部 農村整備課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】基盤整備係 0857-30-8317		
款 農林水産業費	【10次総の施策体系】2104		
項 農業費	【事業の経過及び背景】 事業実施地区では、農家の高齢化・後継者不足が深刻であり、耕作者が減少してきている。この地域の農地は、ほ場整備が未実施で、耕作条件が悪いため農地の耕作放棄地化の進行が懸念されている。		
目 農地費	【事業の目的及び効果】 農地が狭小・不整形な区画のため、大型機械等による効率的な営農が難しい。ほ場整備を行うことで、効率的で組織的な営農を促進する。		
(単位：千円)	【事業の内容・実績】 (事業の内容) ・実施主体 鳥取県 ・事業内容 ほ場整備		
前年度当初予算額	18,000	《河内地区》 ・事業年度 平成29年度～令和2年度 ・事業費 29,920千円(負担割合：国55%、県30%、市10%、地元5%) ・市負担額 4,488千円(市負担分+地元負担分)	
本年度要求額	16,788	《青谷町山根地区》 ・事業年度 平成30年度～令和4年度 ・事業費 82,000千円(負担割合：国55%、県30%、市10%、地元5%) ・市負担額 12,300千円(市負担分+地元負担分)	
総務部長段階査定額	16,788	《事業の実績》 (事業の内容) 《河内地区》 平成29年度 2,232千円 平成30年度 1,428千円 令和元年度 2,580千円(見込み)	
市長段階査定額	16,788	《青谷町山根地区》 平成29年度 749千円 平成30年度 10,020千円(見込み) 令和元年度 10,020千円(見込み)	
総務部長段階査定額	16,788	※その他財源の負担金は、地元負担金。	
市長段階査定額	16,788		
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金	0	
	地方債	9,900	
	その他	5,596	
	一般財源	1,292	
	計	16,788	
	分担金	0	
	負担金	5,596	
	使用料	0	
	手数料	0	
	財産収入	0	
	寄付金	0	
	繰入金	0	
	贈収入	0	
	その他	0	
行財政改革課処理欄			

農050	項目名	地域ため池総合整備事業費	新規事業
予算書項目	県営事業負担金	ページ	239
年度	R2	所 属 名	農林水産部 農村整備課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】基盤整備係 0857-30-8317		
款 農林水産業費	【10次総の施策体系】2104		
項 農業費	【事業の経過及び背景】 事業実施地区のため池は、周辺農地の主要な取水源であるが、決壊した際、周辺への被害が想定されるため、早急な対策が必要となっている。		
目 農地費	【事業の目的及び効果】 ため池の改修を行うことで、決壊を防止し、安定的にかんがい用水を確保する。		
(単位：千円)	【事業の内容・実績】 (事業の内容) ・実施主体 鳥取県 ・事業内容 ため池改修		
前年度当初予算額	4,800	《柙宜谷地区》 坂口溜池 ・事業年度 令和元年度～令和2年度 ・事業費 37,000千円(負担割合：国55%、県29%、市14%、地元2%) ・市負担額 5,920千円(市負担分+地元負担分)	
本年度要求額	7,020	《七谷地区》 七谷池 ・事業年度 令和2年度～令和4年度 ・事業費 30,000千円(負担割合：国55%、県34%、市11%) ・市負担額 3,300千円	
総務部長段階査定額	7,020	《広岡地区》 広岡溜池 ・事業年度 令和2年度～令和4年度 ・事業費 20,000千円(負担割合：国55%、県34%、市11%) ・市負担額 2,200千円	
市長段階査定額	7,020	《事業の実績》 (事業の内容) 《柙宜谷地区》 令和元年度 4,800千円(見込み)	
総務部長段階査定額	7,020	※その他財源の負担金は、地元負担金。	
市長段階査定額	7,020		
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金	0	
	地方債	5,600	
	その他	740	
	一般財源	680	
	計	7,020	
	分担金	0	
	負担金	740	
	使用料	0	
	手数料	0	
	財産収入	0	
	寄付金	0	
	繰入金	0	
	贈収入	0	
	その他	0	
行財政改革課処理欄			

農051	項目名	特定農業用管水路等特別対策事業費	新規事業
予算書項目	県営事業負担金	ページ	239
年度	R2	所 属 名	農林水産部 農村整備課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】基盤整備係 0857-30-8317		
款 農林水産業費	【10次総の施策体系】2104		
項 農業費	【事業の経過及び背景】 事業実施地区のかんがい用管は、当時安価で施工性に優れていた石綿管が主に使用されている。近年は老朽化による管の破裂や漏水事故が頻発しており、用水の安定供給のみならず、修繕時における石綿粉塵飛散による健康被害が危惧されている。		
目 農地費	【事業の目的及び効果】 石綿管使用の管水路を更新することで、石綿に起因する健康被害等への影響を未然に防止するとともに、用水の効率化を図り、農業経営の安定及び維持を図る。		
(単位：千円)	【事業の内容・実績】 (事業の内容) ・実施主体 鳥取県 ・事業内容 石綿管更新 《湖山砂丘地区》 ・事業年度 平成27年度～令和4年度 ・事業費 200,000千円(負担割合：国55%、県34%、市9%、地元2%) ・市負担額 18,000千円 《大井手・古海地区》 ・事業年度 令和2年度～令和5年度 ・事業費 28,000千円(負担割合：国55%、県34%、市9%、地元2%) ・市負担額 2,520千円 (事業の実績) 《湖山砂丘地区》 平成29年度 8,140千円 平成30年度 7,668千円 令和元年度 11,340千円(見込み)		
前年度当初予算額	27,000	総務部長段階査定額	14,760
本年度要求額	14,760	市長段階査定額	14,760
総務部長段階査定額	14,760	その他財源の内訳	
市長段階査定額	14,760	分担金	0
区分	本年度予算額	負担金	0
財源内訳		使用料	0
国・県支出金	0	手数料	0
地方債	13,200	財産収入	0
その他	0	寄付金	0
一般財源	1,560	繰入金	0
計	14,760	雑収入	0
		その他	0
行財政改革課処理欄			

農052	項目名	農業用河川工作物応急対策事業費	新規事業
予算書項目	県営事業負担金	ページ	239
年度	R2	所 属 名	農林水産部 農村整備課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】基盤整備係 0857-30-8317		
款 農林水産業費	【10次総の施策体系】2104		
項 農業費	【事業の経過及び背景】 袋川に設置されている国府町宮ノ下地区と大杓地区の2箇所の頭首工が使用されないまま老朽化し、地震又は洪水などの災害時に、堤防が決壊し住宅地へ被害が及ぶ危険性がある。こうした被害を未然に防止するため、これらの頭首工を撤去することが喫緊の課題となっている。		
目 農地費	【事業の目的及び効果】 頭首工を撤去することで、破堤による住民への被害を未然に防止し、地域の安全・安心を確保する。		
(単位：千円)	【事業の内容・実績】 (事業の内容) ・実施主体 鳥取県 ・事業箇所 国府町宮ノ下地区、大杓地区 ・事業内容 頭首工撤去 ・事業年度 平成30年度～令和5年度 ・事業費 120,000千円(負担割合：国55%、県37%、市8%) ・市負担額 9,600千円 (事業の実績) 平成30年度 320千円 令和元年度 1,360千円(見込み)		
前年度当初予算額	1,200	総務部長段階査定額	9,600
本年度要求額	9,600	市長段階査定額	9,600
総務部長段階査定額	9,600	その他財源の内訳	
市長段階査定額	9,600	分担金	0
区分	本年度予算額	負担金	0
財源内訳		使用料	0
国・県支出金	0	手数料	0
地方債	8,600	財産収入	0
その他	0	寄付金	0
一般財源	1,000	繰入金	0
計	9,600	雑収入	0
		その他	0
行財政改革課処理欄			

農053	項目名	排水機場維持管理費	新規事業
予算書項目	排水機場維持管理費	ページ	239
年度	R2	所 属 名	農林水産部 農村整備課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】基盤整備係 0857-30-8317		
款 農林水産業費	【10次総の施策体系】2104		
項 農業費	【事業の経過及び背景】 西円通寺地区は、千代川と砂見川に挟まれた平坦な水田地帯であり、昭和47年～48年にほ場整備事業を完了している。 服部地区は、千代川と有富川に挟まれた平坦な水田地帯であり、昭和57年にほ場整備を完了している。 両地区とも、千代川の水位上昇等により農地が冠水し、農作物被害が発生するため、排水機場を整備した。		
目 農地費	【事業の目的及び効果】 当該地区の幹線排水路は、洪水時下流部河川の水位上昇により排水不良となるため、農地冠水被害を防止するため、ポンプ排水を行い農業経営の安全を図る。		
(単位：千円)	【事業の内容・実績】		
前年度当初予算額	13,042	(事業の内容) ・事業内容 保守点検・出水期6月～10月 月2回 ・非出水期11月～5月 月1回水位監視 河川増水時、常駐による運転操作及び場内待機 各種機器等の保守管理、修繕	
本年度要求額	22,208	・事業費 21,911千円	
総務部長段階査定額	21,911	(事業の実績)	
市長段階査定額	21,911	《西円通寺排水機場》 平成29年度 5,583千円 平成30年度 5,982千円 令和元年度 7,697千円 (見込み)	
区分	本年度予算額	《服部排水機場》 平成29年度 4,988千円 平成30年度 5,065千円 令和元年度 5,545千円 (見込み)	
財源内訳	国・県支出金 4,785		
	地方債 0		
	その他 0		
	一般財源 17,126		
	計 21,911		
行財政改革課処理欄			

農054	項目名	農山漁村地域整備交付金事業費	新規事業
予算書項目	農山漁村地域整備交付金事業費	ページ	239
年度	R2	所 属 名	農林水産部 農村整備課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】基盤整備係 0857-30-8317		
款 農林水産業費	【10次総の施策体系】2104		
項 農業費	【事業の経過及び背景】 農業用施設の老朽化が進んでいる。予防保全をするためには、メンテナンスサイクル(点検・診断・措置・記録)の構築が不可欠となっている。		
目 農地費	【事業の目的及び効果】 農道橋等の点検・診断を行うことで、適切な維持管理計画を作成する。		
(単位：千円)	【事業の内容・実績】		
前年度当初予算額	8,643	(事業の内容) ・事業内容 農道橋の点検・診断 3箇所 ・事業費 1,114千円×3橋 3,342千円 (負担割合：国50%、市50%)	
本年度要求額	3,342	(事業の実績)	
総務部長段階査定額	3,342	令和元年度 3,925千円 (見込み)	
市長段階査定額	3,342		
区分	本年度予算額		
財源内訳	国・県支出金 1,671		
	地方債 0		
	その他 0		
	一般財源 1,671		
	計 3,342		
行財政改革課処理欄			

農055	項目名	危険ため池廃止事業費	新規事業
予算書項目	危険ため池廃止事業費	ページ	239
年度	R2	所 属 名	農林水産部 農村整備課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】基盤整備係 0857-30-8317		
款 農林水産業費	【10次総の施策体系】2104		
項 農業費	【事業の経過及び背景】 平成30年7月豪雨では、広島県を中心として32カ所のため池が決壊し、ため池の下流に大きな被害を与えた。このうち、防災重点ため池に選定されていたものは3カ所であり、国は、新たな防災重点ため池の基準を定めた。ハード・ソフト両面からの災害に強い地域づくりを推進する必要がある。		
目 農地費	【事業の目的及び効果】 使われていない危険ため池を廃止し、地域の防災・減災対策を図る。		
(単位：千円)	【事業の内容・実績】 (事業の内容) ・事業内容 ため池の廃止 ・事業箇所 防災重点ため池のうち、廃止希望のあるため池について、優先順位を付けて選定する。 ・事業費 測量設計委託 1,000千円×7箇所 7,000千円(負担割合：国100%) (事業の実績) 令和元年度 3,352千円(見込み)		
前年度当初予算額	24,000	総務部長段階査定額	7,000
本年度要求額	7,000	市長段階査定額	7,000
区分	本年度予算額	其他財源の内訳	
国・県支出金	7,000	分担金	0
地方債	0	負担金	0
其他	0	使用料	0
一般財源	0	手数料	0
計	7,000	財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		其他	0
行財政改革課処理欄			

農056	項目名	農業基盤整備促進事業費	新規事業
予算書項目	農業基盤整備促進事業費	ページ	239
年度	R2	所 属 名	農林水産部 農村整備課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】基盤整備係 0857-30-8317		
款 農林水産業費	【10次総の施策体系】2104		
項 農業費	【事業の経過及び背景】 農業生産基盤の整備をきめ細かく実施し、意欲ある農業者が安心して新しい営農に取り組めるよう農業用排水施設、暗渠排水の新設変更等の農業基盤整備を行う。		
目 農地費	【事業の目的及び効果】 老朽化施設の更新、用排水施設の増設等の農業水利施設の整備、暗渠排水等の農地の整備をきめ細かく実施し、排水不良や、用水不足に対応するとともに経営規模の拡大や、戦略作物・地域振興作物の生産を促進し農業所得の向上にも資する。		
(単位：千円)	【事業の内容・実績】 (事業の内容) ・事業内容 ほ場整備等 ・事業箇所 河原町谷一木 ・事業年度 令和2年度～令和4年度 ・事業費 5,745千円(負担割合：国55%、県15%、市15%、地元15%) (事業の実績) 《良田地区》 平成29年度 8,307千円 平成30年度 6,614千円 令和元年度 18,329千円(見込み)		
前年度当初予算額	18,176	総務部長段階査定額	5,745
本年度要求額	5,745	市長段階査定額	5,745
区分	本年度予算額	其他財源の内訳	
国・県支出金	4,020	分担金	0
地方債	700	負担金	861
其他	861	使用料	0
一般財源	164	手数料	0
計	5,745	財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		其他	0
行財政改革課処理欄	※其他財源の負担金は、地元負担金。		

農057	項目名	ため池ハザードマップ作成事業費	新規事業
予算書項目	ため池ハザードマップ作成事業費	ページ	241
年度	R2	所 属 名	農林水産部 農村整備課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】基盤整備係 0857-30-8317		
款 農林水産業費	【10次総の施策体系】2104		
項 農業費	【事業の経過及び背景】 災害基本法では、「市町村は基本的な地方公共団体として住民の生命、身体及び財産を災害から保護するため、防災に関する計画を作成し実施する責務を有する」としており、ため池を取り巻く環境の変化を考え合わせると、ため池ハザードマップの整備では市町村が主体となる必要がある。		
目 農地費	【事業の目的及び効果】 ため池ハザードマップを作成・整備することにより、災害発生時に迅速・的確な避難を行うとともに、災害による被害の低減を図る。また、作成の過程で地域住民自らが地域の危険箇所を知ることができたり、あるいは災害時の対処方法を検討することで日頃の防災意識を高める。		
(単位：千円)	【事業の内容・実績】 (事業の内容) ・事業内容 ため池ハザードマップ作成 15箇所 ・事業費 10,260千円(負担割合：国100%) (事業の実績) 令和元年度 3,280千円(見込み)		
前年度当初予算額	3,280	総務部長段階査定額	10,260
本年度要求額	10,260	市長段階査定額	10,260
区分	本年度予算額	分担金	0
財源内訳		負担金	0
国・県支出金	10,260	使用料	0
地方債	0	手数料	0
その他	0	財産収入	0
一般財源	0	寄付金	0
計	10,260	繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
行財政改革課処理欄			

農058	項目名	多面的機能支払交付金	新規事業
予算書項目	多面的機能支払事業費	ページ	241
年度	R2	所 属 名	農林水産部 農村整備課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】総務係 0857-30-8316		
款 農林水産業費	【10次総の施策体系】2104		
項 農業費	【事業の経過及び背景】 農業・農村は、国土の保全、水源の涵養、自然環境の保全、良好な景観の形成等の多面的機能を有しており、その利益は広く国民が享受している。しかしながら、近年の農村地域の過疎化、高齢化、混住化等の進行に伴う集落機能の低下により、地域の共同活動によって支えられている多面的機能の発揮に支障が生じつつある。また、地域の共同活動の困難化に伴い、農用地、水路、農道等の地域資源の保全管理に対する担い手農家の負担の増加も懸念されている。		
目 農地費	【事業の目的及び効果】 農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域の共同活動に支援を行い、地域資源の適切な保全管理を推進するとともに、担い手農家への農地集積という構造改革を後押しするものである。		
(単位：千円)	【事業の内容・実績】 (事業の内容) ・事業費 196,040千円(負担割合：国50%、県25%、市25%) ①農地維持支払交付金 77,972千円 ②資源向上支払交付金 118,068千円 ・事務費 2,030千円(負担割合：国100%) (事業の実績) 平成29年度 192,861千円 平成30年度 202,505千円 令和元年度 189,494千円(見込み)		
前年度当初予算額	208,981	総務部長段階査定額	198,083
本年度要求額	198,083	市長段階査定額	198,083
区分	本年度予算額	分担金	0
財源内訳		負担金	0
国・県支出金	148,740	使用料	0
地方債	0	手数料	0
その他	0	財産収入	0
一般財源	49,343	寄付金	0
計	198,083	繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
行財政改革課処理欄			

農059	項目名	農業水利施設保全高度化事業費	新規事業	○
------	-----	----------------	------	---

予算書項目	農業水利施設保全高度化事業費	ページ	241
-------	----------------	-----	-----

所 属 名	農林水産部 農村整備課
-------	----------------

年度	R2
----	----

会計名	一般会計
款	農林水産業費
項	農業費
目	農地費

(単位：千円)

前年度当初予算額	0
----------	---

本年度要求額	47,440
--------	--------

総務部長段階査定額	13,088	その他財源の内訳
-----------	--------	----------

市長段階査定額	13,088	分担金	0
---------	--------	-----	---

区 分	本年度予算額	負担金	使用料	手数料	財産収入	寄付金	繰入金	贈収入	その他
国・県支出金	9,039								
地方債	1,500								
その他	2,085								
一般財源	464								
計	13,088								

行財政改革課処理欄

事業の概要

【問合せ先】基盤整備係 0857-30-8317

【10次総の施策体系】2104

【事業の経過及び背景】
農業の基礎的な生産基盤である農地の適切な保全管理や、老朽化した農道、用排水路等の農業用施設全般の整備・補修が求められる。

【事業の目的及び効果】
長寿命化対策に資する農業用排水施設等の整備を行うことで、効率的な農業運営・管理を実現する。

【事業の内容】
・実施主体 鳥取市
・事業内容 農業水利施設の整備
《用瀬町鷹狩地区水路改修工事》
・事業費 10,648千円（負担割合：国55%、県15%、市15%、地元15%）
《大寺屋ポンプ場ポンプ修繕》
・事業費 2,440千円（負担割合：国50%、県15%、市15%、地元20%）

※その他財源の負担金は、地元負担金。

農060	項目名	土地改良施設維持管理適正化事業費	新規事業	○
------	-----	------------------	------	---

予算書項目	土地改良施設維持管理適正化事業費	ページ	241
-------	------------------	-----	-----

所 属 名	農林水産部 農村整備課
-------	----------------

年度	R2
----	----

会計名	一般会計
款	農林水産業費
項	農業費
目	農地費

(単位：千円)

前年度当初予算額	0
----------	---

本年度要求額	308
--------	-----

総務部長段階査定額	308	その他財源の内訳
-----------	-----	----------

市長段階査定額	308	分担金	0
---------	-----	-----	---

区 分	本年度予算額	負担金	使用料	手数料	財産収入	寄付金	繰入金	贈収入	その他
国・県支出金	0								
地方債	0								
その他	0								
一般財源	308								
計	308								

行財政改革課処理欄

事業の概要

【問合せ先】総務係 0857-30-8316

【10次総の施策体系】2104

【事業の経過及び背景】
土地改良施設の定期的な整備補修に対する支援を通じて、当該施設の機能を耐用年数まで全うさせるとともに、土地改良区等施設管理者の管理意識の高揚を図るために創設された事業である。団体規模の小規模な施設の整備補修でも活用することができ、また、改良区等が負担する事業費の一部を5年間に分けて積み立てる仕組みのため、改良区等の財政負担の軽減、平準化を図ることができる。

〈本事業の仕組み〉
・改良区は総事業費の30%を拠出し、国補助金30%と県補助金30%を合わせた90%を全国土地改良事業団体連合会が土地改良施設維持管理適正化資金として造成する。
・改良区は、拠出金を5年間均等に分割して拠出する。
・この適正化資金90%と残り10%を改良区が負担し、事業実施する。
(国30%、県30%、改良区40%)

【事業の目的及び効果】
現在、土地改良施設の老朽化が著しく、大きな課題となっており、改良区等が施設を適切に整備補修するための拠出金の一部を補助することで、負担を軽減し、施設の機能の維持と耐用年数の延長を図る。

【事業の内容】
改良区拠出金の2/3を5年にわたり改良区に補助する。
(実質負担割合：国30%、県30%、市20%、改良区20%)

- 実施主体 大口堰土地改良区
総事業費 4,600千円（令和2年度～令和6年度）
事業内容 樋門電気設備整備補修 2か所
市負担額 改良区拠出金1,380千円/5年×補助率2/3=184千円
- 実施主体 大井手土地改良区
総事業費 3,100千円（令和2年度～令和6年度）
事業内容 水路転落防止柵整備補修 L=150m
市負担額 改良区拠出金930千円/5年×補助率2/3=124千円

農061	項目名	中山間地域等直接支払交付金	新規事業
------	-----	---------------	------

予算書項目	中山間地域等直接支払事業費	ページ	241
-------	---------------	-----	-----

所 属 名	農林水産部 農村整備課
-------	----------------

年度	R2
----	----

会計名	一般会計
款	農林水産業費
項	農業費
目	農業構造改善事業費

事業の概要

【問合せ先】総務係 0857-30-8316

【10次総の施策体系】2104

【事業の経過及び背景】
中山間地域等直接支払制度は、第1期対策（H12～H16）、第2期対策（H17～H21）、第3期対策（H22～H26）を経て、平成27年度より法制化され、第4期対策（H27～R元）が実施され、第5期対策（R2～）が継続して行われる。

【事業の目的及び効果】
条件不利地の中山間地域で農業生産活動を行う農業者等に対し直接支払を実施することで、耕作放棄地の発生を防止し、多面的機能を確保する。

【事業の内容・実績】
（事業の内容）
・対象地域 特定農山村法、山村振興法、過疎法に指定された地域及び県知事が特に必要と認める地域のうち、急傾斜地（田1/20以上、畑15度以上）及び、緩傾斜（田1/20未満1/100以上、畑15度未満8度以上）で面的まとまりのある農用地等。
・対象者 集落協定に基づき5年以上継続して農業生産活動を行う農業者等。
・事業実施期間 令和2年度より5年間（第5期対策）
・事業費 110,621千円（負担割合：三法地域：国50%、県25%、市25%）
知事特認地域：国33%、県33%、市34%
・事務費 2,011千円（負担割合：国100%）
（事業の実績）
平成29年度 110,795千円
平成30年度 111,428千円
令和元年度 112,447千円（見込み）

（単位：千円）

前年度当初予算額	111,344
----------	---------

本年度要求額	112,638
--------	---------

総務部長段階査定額	112,638
-----------	---------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
贈収入	0
その他	0

市長段階査定額	112,638
---------	---------

区 分	本年度予算額
財源内訳	
国・県支出金	83,629
地方債	0
その他	0
一般財源	29,009
計	112,638

行財政改革課処理欄